

ID: R-SL0006

データ収集日: 2016年5月19日

読んだ素材: 「ナポレオン・ボナパルト」フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

使用した辞書類: 電子辞書CASIO, jisho.org (日本語・英語), PONS (オンライン多言語辞書のうち、スロベニア語・英語・フランス語)

行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1			Danes bomo brali članek na Wikipediji o Napoleonu.	今日は、ナポレオンについてのWikipediaの記事を読みます。		
2					うん。	
3			In se bom.	そして、		
4					始めましょうか。	
5			Oo, tukaj je njegov življenjepis.	んん、ここが彼の生涯[について書かれている箇所]です。		
6					うん。	
7		生涯	In tule bom preveril to besedo[生涯].	そして、ここでこの言葉[生涯]を確認します。		
8					うん。	
9			Bom kopiral in vstavim v ta jisho.org[「生涯」をjisho.org入力して検索する].	コピーして、このjisho.orgに入力します[「生涯」をjisho.orgに入力して検索する].		
10					この言葉は分かりませんね。	
11			Ja, samo, da preverim.	はい、少し確認します。		
12					はい。	
13			Oo, se pravi, je 生涯 [日本語で発話する] in.	うん、つまり、これは「生涯」で、		
14					jisho.org. うん。	
15			In se pravi, da je[「生涯」の部分は] pač njegova njegova kariera oziroma pač življenjepis neke vrste.	そして、つまり、[「生涯」の部分は]彼「ナポレオン」のこと。]の、彼の経歴、伝記みたいなものです。		
16					うん。	
17		生い立ち	To je to. In potem imamo ikeitari[「生い立ち」の読み間違い][日本語で発話する]. to bom tudi preveril.	こういうことです。そして、あとは「いけたち」[「生い立ち」の読み間違い]、これも確認します。		
18					うん。	
19			Sicer pač znam prebrati, ampak bi raje preveril zaradi pomena[「生い立ち」をjisho.org入力して検索する].	まあ、読めますが、意味を確認したいです[「生い立ち」をjisho.orgに入力して検索する].		
20					うん。	
21			Oo, se pravi, aha, se pravi tudi pač おい、生い立ち[日本語で発話する].	んん、つまり、ああ、つまり、「おい、生い立ち」は、		
22					うん。	
23			Se pravi, je njegova osebna zgodovina oziroma pač zgodnji, zgodnje življenjsko obdobje.	つまり、彼の履歴が幼少、または幼少期[のこと]です。		
24					うん。	
25			Se pravi od otroštva in mladosti in tako naprej.	つまり、幼少期や青春期など[のこと]です。		
26					はい。	
27		1769年、コルシカ島のアジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・ブオナバルテと母マリア・レティツィア・ラモリーノの間に、12人の子供(4人は夭折)のうち4番目として生まれた。	Umm, se pravi, potem, 1369年[7を3と間違えて、せんさんびゃくろくじゅうきゅうねんと日本語で発話する].	うーん、つまり、そして、「1369年」[7を3と間違えて、せんさんびゃくろくじゅうきゅうねんと日本語で発話する.]、		
28					うん。	
29			コロシ、コルシカシマ[「コルシカ島」のこと]のアジヤ、アジャクシオ[「羅りながら笑う」][日本語で発話する].	「コロシ、コルシカシマ[「コルシカ島」のこと.]」の「アジヤ、アジャクシオ」[「羅りながら笑う」].		
30					[「笑う。」]	
31			少し難しい[日本語で発話する].	「少し難しい」。		
32					カタカナ。	
33			アジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・ブオナバルテと母マリア・レティツィ、レティシ、ツイア・ラモリ、ラモリーノの間に12人の子供、4人は、あ、これ[「夭折」は][日本語で発話する].	「アジャクシオにおいて、父カルロ・マリア・ブオナバルテと母マリア・レティツィ、レティシ、ツイア・ラモリ、ラモリーノの間に12人の子供、4人は、あ、これ[「夭折」は]、		
34					漢字、漢字。	
35			Umm, kanji, umm, to[「夭折」] bom preveril.	うーん、漢字。うーん、これ[「夭折」]を確認します。		
36					うん。	
37			Spet[確認します] v jisho[オンライン辞書のjisho.orgのこと]. [「夭折」] je jisho.orgに入力して検索する。] Nin, 夭折[日本語で発話する]. se pravi, da so umrli, pač da so umrli v otroštvu ali da so prezgodaj umrli.	またjisho[オンライン辞書のjisho.orgのこと.]で[確認します]. [「夭折」] je jisho.orgに入力して検索する。]んん、「夭折」、つまり死んだ。まあ、幼少期に死んだか若死にしたのです。		
38					うん。	
39			Oo, se pravi, da leta 1769 na otoku Korzka, aha, アジャクシオ[日本語で発話する]. a, to bom pa preveril, ko smo ravno že tukaj, pač, a, アジャクシオ[日本語で発話する][「記事中にある「アジャクシオ」のリンクをクリックする」].	んん、つまり、1796年にコルシカ島で、「あ、う、アジャクシオ」、あ、せっかくですから、これも確認します。この、あ、「アジャクシオ」[「記事中にある「アジャクシオ」のリンクをクリックする」].		
40					うん、今朝をしたんですか。	
41			Umm, preveril sem se tukaj en, pač, to ime kraja.	うーん、ここで1つ、まあ、この場所の名前を確認したのです。		
42					うん。	
43			Ker je v katakani, zato da pač preverim.	カタカナなので、まあ、確認するために。		
44					つまり、ただ[その言葉を]をクリックしたんですね。	
45			Kiknil, ja.	クリックしました。はい。		

46					その言葉を[クリックしたのです]。	
47			ja.	はい。		
48					それが、うーん。	
49			Umm, ker, pač.	うーん、それは、まあ。		
50					その言葉が、	
51			Bi pač rad preveril, kakšna je v bistvu originalna beseda.	もとの言葉[の意味]はどうなのか、確認したいからです。		
52					そして、この言葉はすでにリンクになっていますね。	
53			Mhm, je bila označena.	うん、リンクです。		
54					はい。	
55			Oo, tukaj bom pogledal še v angleščini. Samo da vidim, ali je izgovorjava[「アジャクシオ」かどうか]. Oo.	んん、ここは英語も調べます。読み方が[「アジャクシオ」かどうか]確認します。んん、		
56					ああ、さっきは日本語、日本語版でしたか。	
57			アジャ、これは[日本語で発話する]。Ajaccio[英語で発話する]。うん、結構[笑う]。難しい[笑う][日本語で発話する]。	「アジャ、これは」。「Ajaccio」[英語で発話する]。「うん、結構[笑う]。難しい[笑う]。」		
58					難しい、イタリア語[協力者がイタリア語版も確認したか不明]。	
59			まあ、そうですね[日本語で発話する]。	「まあ、そうですね」。		
60					うん。	
61			Se pravi, to je pač ime. A se pravi, to je pač, ta Ajakšunio[日本語で発話する] je pač ime tega kraja na otoku Korziki.	つまりこれは、まあ、名前です。あ、つまり、これは、まあ、この「アジャクシオ」というのは、つまりコルシカ島の場所の名前です。		
62					うん。	
63			In njegov oče je bil Karlo, えーと[日本語で発話する] to bom samo še preveril, to ime staršev, ker je spet tako, rahlo tedno izgovorjivo[「カルロ・マリア・ブオナバルテ」ど「マリア・レティツィア・ラモリーノ」の英語版かイタリア語版を見る]。	そして、彼[ナポリシオン]の父はカルロ、「えーと」、これだけ確認します。この親の名前を、またここ、少し正しいにいますから[「カルロ・マリア・ブオナバルテ」ど「マリア・レティツィア・ラモリーノ」の英語版かイタリア語版を見る]。		
64					うん。	
65			Ja, pač, kakšno izgovorjavo dostikrat potem preverim tudi v angleščini.	はい、まあ、読み方をよく英語でも調べたりします。		
66					うん。	
67			Zaradi tega, ker dostikrat potem piše tudi, pač so tudi imena, potem so tranziteriana, da lahko vidiš, kako se izgovorijo.	それは、よく[韻字]も書かれていて、つまり名前も、そこに韻字もあるので読み方が見られます。		
68					うん。	
69			Se pravi, je Karlo Maria Bonaparte, oo, se pravi, to je tako.	つまり、カルロ・マリア・ブオナバルテは、んん、つまり、これはこう。		
70					うん。	
71			Carlo Maria di Buonaparte[イタリア語で発話する] in, o, o, o, in Maria Letizia Ramolino[イタリア語で発話する]。Ok, to sem zdaj preveril.	「Carlo Maria di Buonaparte」[イタリア語で発話する]と、んんん、ど「Maria Letizia Ramolino」[イタリア語で発話する]です。はい、これは確認しました。		
72					うん。	
73			Ok. Se pravi, se vrnem nazaj na članek. Oo, oče, se pravi oče je bil Carlo Maria, umm, Buonaparte in mati je bila Maria Tere, Letizia[おそらく「マリア・テレジア」と間違える]。umm, Ra, Ramo, Ramolino.	はい、つまり、また記事に戻ります。んん、父、つまり父はカルロ・マリア、うーん、ブオナバルテで、母はマリア・テレ[おそらく「マリア・テレジア」と間違える]、レティツィア、うーん、ラ、ラモ、ラモリーノです。		
74					うん。	
75			In med njima, pač imela sta 12 otrok.	そして、この2人の間に、まあ、子供が12人生まれて、		
76					うん。	
77			Od katerih so štirje prezgodaj umrli.	そのうち4人が夭折しました。		
78					うん。	
79			In Napoleon je bil četrti otrok, se je rodil pač kot četrti otrok.	そして、ナポリシオンは4番目の子供で、4番目の子として生まれたのです。		
80					うん。	
81			出生時の洗礼名はナブリオーネ・ブオナバルテ。	Umm, しゅうせいとき[「出生時」の読み間違い][日本語で発話する][横きを仮いて読む]、misim pač da gre za rojstvo.	うーん、「しゅうせいとき」[「出生時」の読み間違い][横きを仮いて読む]。まあ、出生のことだと思います。	
82					うん、これは次の文ですね。	
83			Ja. Predvidevam pač, da ob rojstvu[「出生」を jisho.orgに入力して検索する]。しゅ、しゅつしょう[出生のこと][日本語で発話する]。ja rojstvo, se pravi za čas rojstva.	はい、出生の時[という意味]だと思います[「出生」を jisho.orgに入力して検索する]。「しゅ、しゅつしょう」[出生のこと]、はい、出生、つまり出生の時です。		
84					うん。	
85			せいれいみょうは[「洗礼名」の読み間違い][日本語で発話する]。a, to bom še samo preveril, seiれいめい[「洗礼名」の読み間違い][日本語で発話する]。[Jisho.org]に入力して検索する。Pač vé ash je tudi tako, da znaš prebrati kanjije, ampak pač[笑う] ne več, kaj točno pomenijo.	「せいれいみょうは」[「洗礼名」の読み間違い]。あ、これだけを確認します。「せいれいめい」[「洗礼名」の読み間違い][Jisho.org]に入力して検索する。たまにこういうこともあります。漢字は読めますが、まあ[笑う]、意味がよく分からないのです。		
86					うん、うん。	
87			Aha, se pravi 洗礼名[日本語で発話する]。se pravi je, umm, krščansko ime oziroma krstno ime.	ああ、つまり「洗礼名」です。つまりこれは、うーん、クリスチャン・ネーム、洗礼の名前です。		
88					うん。	
89			Se pravi, njegovo krstno ime je bilol「ナリオン、ナブリオーネ、ポ」[日本語で発話する]。	つまり、彼[ナポリシオン]の洗礼名は「ナリオン、ナブリオーネ、ポ」。		
90					[笑う。]	
91			「ブオナバルテ、えー、これ」[日本語で発話する]。tu bi, tudi to bom preveril pač zaradi izgovorjave[「ナポリシオン」のWikipediaのページの英語版を見る]。	「ブオナバルテ、えー、これ」ここは、これも、まあ、読み方を確認しようと思います[「ナポリシオン」のWikipediaのページの英語版を見る]。		
92					カタカナが難しいですか。	

93			Ee, ne tako težka, ampak včasih se zdi, da, da, pa o še posebej recimo v tem primeru je francoščina in gre že rahlo daleč od originala, včasih.	えー、難しいというより、時々、特にたとえば、この場合は、フランス語の起点言語から少し離れているようです。		
94					なるほど、違和感を感じますね。	
95			Ja, O. o. o. Napoleone di Buonaparte[イタリア語で発話する]。Ok, se pravi, to je pač ta izgovorjava Napoleone di Buonapart. To sem zdaj preveril. Ok, Napoleone di Buonaparte, se pravi, to je bilo njegovo krstno ime. 島をお[「追われて」の読み方に迷う][日本語で発話する]。	はい、んん、[Napoleone di Buonaparte][イタリア語で発話する]。はい、つまりこれは、まあ、この読み方は、ナポレオン・ディ・ブオナパルテです。これは今確認しました。はい、ナポレオン・ディ・ブオナパルテ。つまりこれは彼の洗礼名でした。「島をお[「追われて」の読み方に迷う]」。		
96					この言葉[ナポレオン・ディ・ブオナパルテ]は、本当にそのカタカナ語[ナプリオネ・ブオナバルテ]に当たりますか。	
97			ナプリオネ、ボ、ナバルテ[日本語で発話する]。Ja, sem skoraj prepričan, zato ker pač je tudi tam [英語版] pisalo njegovo krstno ime, ne.	「ナプリオネ、ボ、ナバルテ」はい、きっとそうだと思います。そこ[英語版]でも、[ナポレオン・ディ・ブオナバルテ]が彼の洗礼名だと書いてありましたから。		
98					分かりました。では続きを読みましょう。	
99			Ok, 島を追われて[「追われて」の読み方に迷う][日本語で発話する]。	はい、「島を追われて」「追われて」の読み方に迷う]。		
100					あ、この「今まで読んでいた」文を、もう一度説明していただけますか。	
101			Aja, to.	あ、これですね。		
102					出生時の。	
103			しゅっせい[「出生時のこと」の][日本語で発話する]。kako je, sen. 洗礼名だったかな[日本語で発話する]。	「しゅっせい[「出生時のこと」の]、何でしたか。」「せん、洗礼名だったかな」。		
104					うん。	
105			洗礼[日本語で発話する]。aha, 洗礼名, 洗礼名はナプリオネ・ブオナバルテ[日本語で発話する]。	「洗礼」あ、「洗礼名、洗礼名はナプリオネ・ブオナバルテ」。		
106					うん。スロベニア語で大体の意味はどうですか。	
107			V bistvu je pač spet Napoleon Bonaparte, samo v bistvu, v tem primeru je v italijanski, pač zaradi tega, ker je bila, ker je že, pač se je rodil na Korzki, se pravi, da je bilo v bistvu v italijanski. Pač lahko bi rekel, da je bilo prvotno njegovo ime v italijanski. Zaradi tega v bistvu pač bi lahko rekel neke vrste italijanska različica njegovega mena pravzaprav.	つまり、まあ、またナポレオン・ボナパルトのことですが、ただ、つまり、この場合はイタリア語で、まあ、そこ[コルシカ島]は[イタリア語が使われていたから]、もう、まあ、コルシカ島で生まれたので、つまりイタリア語が使われていたのです。まあ、彼[ナポレオン]の最初の名前は、イタリア語だったといえます。ですから[ナプリオネ・ブオナバルテ]はある意味で、彼の名前のイタリア語[コルシカ語という方言]、バージョンです。		
108					うん。	
109			島を追われてフランスで一生を暮らすと決めて出世した1794年ごろから、ナポレオン・ディ・ブオナバルテというイタリア人名の綴りから、フランス風のナポレオン・ボナバルトへ改名し、署名も改めた。	んん、「島を」、これ[追われて]を確認します[「追」をjisho.orgに入力して検索する。]、おそらく、行ってしまうという意味だと推測していますが、「追われて」,「to drive out」[英語訳を音音する]。		
110					うん。	
111			追われて[日本語で発話する]。	「追われて」。		
112					今は[この言葉の]1つの漢字だけをコピーしましたね。	
113			Ja, samo en kanji, ja.	はい、漢字を1つだけです。		
114					この言葉の。	
115			Pač da preverim[検索しました]。フランスで一生[日本語で発話する]。se pravi, da, če prav razumem, ko je bil pregan z otoka, Francez de—一生暮らすと決めて、出世[日本語で発話する]。aha, samo to「出世」se preverim「[出世]をjisho.org入力して検索する」。	まあ、確認するために[検索しました]。「フランスで一生」、つまり、私の解釈が正しければ、島から追われたとき「フランスで一生暮らすと決めて、出世」、ああ、これ[出世]だけ確認します[「出世」をjisho.org入力して検索する]。		
116					うん。[言葉が読めた]のに、	
117			Jisho[jisho.orgのこと][で調べます]。	jisho[jisho.orgのこと][で調べます]。		
118					言葉が読めた[のに]、	
119			Ja, pač, dostikrat je tako, da znaš prebrati in se ti približno sanja, ampak.	はい、まあ、[言葉が]読めて意味に心当たりはありますが、[確かではない]ことがよくあります。でも、		
120					[笑う。]	
121			Približno ni točno, no.	心当たりは、まあ、確かではないです。		
122					うん。	
123			Tako da moraš, se pravi, ta「出世」[日本語で発話する]。je pač nek uspeh, življenjski uspeh ali uspeh v življenju.	ですから、つまりこの「出世」は、まあ、功績、人生の功績や成功のような意味です。		
124					うん。	
125			Ali da uspešno živiš.「出世」[した][「1794年」を読み飛ばす]ごろから、決めた[日本語で発話する]。Oo, se pravi, da, se pravi, ko je bil pregan s tega otoka Korzke.	あるいは、出世して生きる[という意味です]。[「出世」[した][「1794年」を読み飛ばす]ごろから、決めた]、んん、つまり、つまりこのコルシカ島から追放されたとき、		
126					うん。	
127			Je potem, mm, se moras zjutraj[日本語で発話する]。se je odločil, da bo preživel, pač da bo živel do konca življenja v Franciji.	その後、んん、「を暮らすと決めて」、まあ、フランスで一生暮らすと決めました。		
128					うん。	
129			In, in od približno, od leta 1794, ko je nekako, od kedar, od takrat, ko je postal pač uspešen okrog tega leta.	そして、そして1794年ごろから、[ナポレオンが]何か、[出世[して]してから、出世[して]してから、まあ、その頃くらいからです。		
130					うん。	
131			Oo, ナポレオン・ディ・ブオナバルテというイタリア人名[日本語で発話する]。oo, to bom še preveril, ta kanji「綴り」spet v jisho.org.	んん、「ナポレオン・ディ・ブオナバルテというイタリア人名」、んん、これ、この漢字「綴り」をまたjisho.orgで調べます。		
132					うん。	
133			O. o. o.「綴り」をjisho.orgに入力して検索する。綴り[日本語で発話する]。se pravi, ko bi si, pisanje ali način pisanja tega imena.	ん、ん、ん[「綴り」をjisho.orgに入力して検索する]。「綴り」、つまり、書くことあるいは、この名前の書き方です。		
134					うん。	

135			Oo, イタリアからフランス風のナポレオン・ボナパルトへ改名[日本語で発話する]. mm, bom samo preveril še, ali je to pravi[「改名」をjisho.orgに入力して検索する]. Sicer,	んん, 「イタリアからフランス風のナポレオン・ボナパルトへ改名」. んん, これ[改名]も正しいか確認します[「改名」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ,		
136					うん。	
137			Pač vem, kaj pomeni, pač da je spremenil ime, ne Ampak,	まあ, 意味は分かります。名前を変えた、ということですね。ですが,		
138					うん。	
139			Pač samo zanima me, ja, 改名[日本語で発話する。].	まあ, ただ[正確な意味を知りたいという]興味があります。はい, 「改名」。		
140					改名, うん。	
141			Ok, se pravi, je spremenil ime.	はい, つまり, 改名しました。		
142					どうして意味が分かりましたか。	
143			Oo, ker かい[改のこと][日本語で発話する] je ponavadi, pač, 改[日本語で発話する] z enim ,	んん, 「かい」[改のこと]は普通, まあ, 「改」と一緒に[おそらく「改」と一緒に単語になる漢字を思い出そうとしている]。		
144					はい,	
145			In tako naprej.	こんな感じです。		
146					うん。	
147			Pač, ponavadi, pač, v bistvu, ker je 改めて[日本語で発話する].	まあ, 普通は, まあ, つまり, 「改めて」ですから,		
148					うん。	
149			Oziroma, pač, ima ta pomen, da nekaj spremenil,	あるいは, まあ, この何かを変えるという意味を持っていますから,		
150					はい,	
151			Ponavadi pač na bolje, no, ali kakorkoli.	普通は, 「[改]の意味は」良くするとかです。		
152					うん。	
153			Pač, in めい[名のこと][日本語で発話する。].	そして, まあ, 「めい」[名のこと]。		
154					そして名。	
155			In 名[日本語で発話する], seveda.	そして「名」, もちろんです。		
156					うん。	
157			Pač, spremeniti ime.	まあ, 改名することです。		
158					うん。	
159			Pač, se pravi nekako logično. Oo, še tukaj vidim [[「署名」をjisho.orgに入力して検索する]. o, o, o, 署名[日本語で発話する]. aha, se pravi, tukaj je podpis.	まあ, つまり, 当たり前と言いますか, んん, ここの何か[[「署名」をjisho.orgに入力して検索する]. ん, ん, ん, 「署名」, ああ, つまり, これは署名[という意味]です。		
160					うん。	
161			[[「改める」か「改めた」をjisho.orgに入力して検索する。] Tudi tu sem preveril še, を改めて[日本語で発話する]. A, se pravi, no, umm, potem, se pravi, potem ko je bil pregan z otoka in se je pač odločil, da bo celo življenje preživel v Franciji.	[[「改める」か「改めた」をjisho.orgに入力して検索する。]ここも確認しました。「を改めて」, ああ, つまり, んん, うーん, あと, つまり, 島から追われて一生フランスで暮らすことに決めた後,		
162					うん。	
163			Se pravi, aha, se pravi, ne, se pravi, da po tem, ko je odšel z otoka, se je odločil pač, da bo celo življenje preživel v Franciji in ko je potem približno leta 1794 postal uspešen, odkar je, pač, po letu, ko je postal, potem, nekako od leta naprej, ko je postal uspešen, 1794.	つまり, ああ, つまり, いいえ, つまり島を出てからフランスで一生暮らすことに決めて1794年頃に出世した後, あれから, まあ, をやっってから, その後, 何か, 出世しました1794年以來,		
164					うん。	
165			Se je potem odločil, da se je preimenoval pač iz svojega italijanskega, pač italijanskega imena, ki je bilo pač ta Napo, Napoleone di Buonaparte.	その後は, 自分のイタリア語の, まあ, このナポ, ナポレオン・ディ・ブオナバルテというイタリア名を改名すると決めました。		
166					うん。	
167			Pač iz tega italijanskega imena,	そのイタリア名から,		
168					うん。	
169			Umm, oziroma iz tega italijanskega načina tega pisanja njegovega imena,	うーん, あるいは自分のイタリア風の名前の書き方から,		
170					うん。	
171			Je spremenil na ta boj, da zveni bolj francosko, pač ta フランス風[日本語で発話する].	このもっと, よりフランス風に関えるように改名しました。この「フランス風」に。		
172					うん。	
173			In pač je spremenil ime na Napoleon Bonapart, pa へ ナポレオン・ボナバルト[日本語で発話する].	そして, まあ, 名前はナポレオン・ボナバルト, つまり「ナポレオン・ボナバルト」に改名しました。		
174					うん。	
175			In pač spremenil je pač tudi, pač tudi svoj podpis, pač kako se je podpisal.	そして, まあ, 自分の署名も, まあ, 署名の書き方も変えました。		
176					うん。	
177			Tako da to je več al manj to.	大体こういう感じです。		
178					そうです。	
179		ブオナバルテ家の祖先は中部イタリアのトスカーナ州に起源を持つ古い血統貴族であった。	Ok, umm, potem naprej je ブオナバルテ家の祖先は[日本語で発話する], to še preverim[[「祖先」をjisho.orgに入力して検索する].	はい, うーん, この後は「ブオナバルテ家の祖先は」, これ[祖先]も確認します[[「祖先」をjisho.orgに入力して検索する]。		
180					うん。	
181			Oo, se pravi, a, se pravi predniki, ne, neke vrste prednik. Se pravi, ta ナポレオン家[日本語で発話する], pač zato ker je け[「家のこと」][日本語で発話する], je pač ta, bom rekel družina ali pač,	んん, つまり, ああ, つまり祖先ですね, 何らかの祖先です。つまりに「ナポレオン家」「ブオナバルテ家のこと」, 「け」[家のこと]ですから, まあ, この, 一族というか,		
182					うん。	

183			Bom rekel ta družina Napo. a, družina, ta, Buonaparte.	ナポ[レオン]家[ブオナバルテ家のこと。]。あ、一族、この、ブオナバルテ[です]。		
184					うん。	
185			In očitno neke vrste prednik は中部イタリア [日本語で発話する]。Aha, se pravi, no, tega ni treba niti gledati. Pač, da je z nekako sredinskega dela Italije.	そして、何らかの祖先[は中部イタリア]。ああ、つまり、まあ、これは損でなくともいいです。イタリアの中部あたりです。		
186					うん。	
187			Toskana, oo, Toskana, samo to bom preveril. O, o, o, samo ta košček [「州」をjisho.orgに入力して検索する]。Toskana.	トスカーナ。んん、トスカーナ。これ[州]だけ確認します。この部分[州]だけです[「州」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、トスカーナ。		
188					助詞を消して。	
189			Aha, oo, se pravi トスカーナ州[日本語で発話する]。	ああ、んん、つまりトスカーナ州[です]。		
190					州。	
191			Se pravi pač provincia, država.	つまり、まあ、州、国です。		
192					うん。	
193			No ja, v bistvu verjetno gre prav za, prav za državo. Ker če pomislimo, pač tukaj je treba tudi malo zgodovinsko gledati. Ker v bistvu v tistem obdobju Italija ni bila še združena in so bile ta različna krajevstva.	ええ、基本的にはおそらく国のことですね。よく考えると、ここは少し歴史的な視点も必要です。基本的に、その時代のイタリアはまだ統一しておらず、様々な国があったのです。		
194					うん。	
195			Se pravi, da v bistvu verjetno gre za neke vrste državo, v bistvu, oziroma mestno državo.	つまり、基本的には、たぶん国が都市国家のようなものです。		
196					うん。	
197			Ali nekaj v tem smislu. Se pravi, da je ta prednik bil v srednjem delu Italije. Se pravi v tej, pač, mestni državi ali pač tej državi Toskani.	そう感じます。つまり、この祖先はイタリアの中部にいました。つまり、この都市国家、あるいは、まあ、このトスカーナという国にいました。		
198					うん。	
199			Ali ne regija, no. Oo, 起源 を持つ[日本語で発話する]。Se to preverim [「起源」をjisho.orgに入力して検索する]。起源[日本語で発話する]。izvor, a, se pravi, da, pač da so izvirali, da je očitno ta njegova družina živela iz tega, pač, osrednjega dela Italije. Oziroma iz te, pač, države, pač, Toskane.	あるいは州ですね。んん、「起源」を持つ。あと、これ[起源]を確認します[「起源」をjisho.orgに入力して検索する]。「起源」。起源。あ、つまり、まあ、起源を持って、やはりこの彼[ナポリオン]の一族はこの、まあ、イタリアの中部に起源を持っているのです。あるいはこの、まあ、国、まあ、トスカーナに[起源を持っていました]。		
200					うん。	
201			Oziroma regije Toskane.	あるいはトスカーナ州に。		
202					うん。	
203			古い[日本語で発話する]。umm, aha, 持つ古い[前後を読み飛ばす][日本語で発話する]。Se to preverim.O, o, o.	「古い」。うーん、ああ、「持つ古い」[前後を読み飛ばす]。これ[血統貴族]も確認します。ん、ん、ん、		
204					この4つの漢字を、	
205			Te štiri kanjije, ja [「 血統貴族 」をjisho.orgに入力して検索する]。Oo, se pravi, tukaj je 血統 [日本語で発話する]。se pravi, to je neke vrste družinsko drevo. In 貴族 [日本語で発話する]。se pravi, da so bili v bistvu, pač, to bom samo preveril še v PONS.	この4つの漢字を、はい[「 血統貴族 」をjisho.orgに入力して検索する]。んん、つまり、ここは「 血統 」。つまり、これは一種の要素です。そして「 貴族 」。つまり、彼ら[ブオナバルテ家]はつまり、まあ、これ[血統]はPONS[オンライン多言語辞書]でも確認します。		
206					うん。	
207			Bi rad samo preveril zaradi slovenščine.	ただ、スロベニア語で調べたいです。		
208					うん。	
209			Da ne bi kaj narobe povedal. O, o, o, PONS, 血統 [日本語で発話する]。Oo, se pravi, tukaj je 血統 [血統の英語訳「lineage」をPONSに入力して検索する]。A u, pravi, pač, da je bil iz tega, umm, pač, da tukaj gre pač za plemiško rodbino.	間違えないように。んんん、PONS、「 血統 」。つまり「 血統 」[血統の英語訳「lineage」を言う。「lineage」をPONSに入力して検索する]。ああ、つまり、まあ、彼[ナポリオン]はこの、うーん、まあ、これは 血統貴族 だということです。		
210					うん。	
211			Se pravi 血統貴族 [日本語で発話する]。umm, se pravi, se pravi, to je bila stara plemiška rodbina,	つまり「 血統貴族 」。うーん、つまり、つまり、これは古い 血統貴族 で。		
212					うん。	
213			Ki je izvirala, a, stara plemiška rodbina, ki je izvirala pač iz tega osrednjega dela Italije, oziroma iz te province Toskane.	その起源が、あ、まあ、このイタリアの中部、このトスカーナ州に起源を持つ古い 血統貴族 です。		
214					うん。	
215			Se pravi, da če damo vse skupaj, da ta družina Napoleoni [「ナポリオン家」と書おうとするが間違いに気づく]。a, Buonaparte, družina Buonaparte, oziroma, pač, tej njegovi predniki,	つまり、まとめて言うと、このナポリオン[「ナポリオン家」と書おうとするが間違いに気づく]。あ、ブオナバルテ家、ブオナバルテ家、あるいは、まあ、この彼[ナポリオン]の祖先は、		
216					うん。	
217			So bili plemiška, stara plemiška rodbina, ki je izvirala iz osrednjega dela Italije, oziroma iz regije Toskane, ki je v osrednjem delu Italije.	イタリアの中部、あるいはイタリアの中部にあるトスカーナ州に起源を持つ 貴族 、古い 血統貴族 でした。		
218					うん。	
219		それがジェノヴァ共和国の傭兵隊長としてコルシカ島に渡って19世紀頃に土着した。	Ok. Se pravi, to je ta stavek. Oo, それがジェノヴァ [日本語で発話する]。ee, e, e, tukaj spet neke težave.	はい、つまりこれはこの文です。んん、「それがジェノヴァ」。えー、え、え、ここまでの問題が起きました。		
220					この漢字[共和国]。	
221			Te kanji bom preveril. ja. Se pravi, dam v 電子辞書[インターネット上の辞書という意味でjisho.orgのこと]。共和、共和国[日本語で発話する]。a, se pravi, pač ta 共和国 [日本語で発話する]。se pravi republika.	この漢字[共和国]を確認します。はい、つまり「電子辞書」[インターネット上の辞書という意味でjisho.orgのこと。]に入力します[「共和国」をjisho.orgに入力して検索する]。「共和」、「共和国」。あ、つまり、まあ、この「共和国」。つまり共和国は、		
222					うん。	
223			Se pravi tukaj je rep, republika Genova.	つまり、ここはジェノヴァ共和、共和国です。		
224					うん。	
225			No, hm, hm, hm, to bom tudi preveril.	で、うーん、うーん、うーん、これ[傭兵隊長]も確認します。		
226					この4つの漢字を、	

227			Te štiri knjige, ja.	この4つの漢字を、はい。		
228					jisho.org	
229			Jisho.org, ja. Oo, se pravi, 傭兵[日本語で発話する], se pravi plašanec, 隊長[日本語で発話する], se pravi, da je bil komandir, oziroma, pač, poveljnik teh plašancev v tej republiki Genovi.	jisho.org, はい, んん, つまり「傭兵」, つまり傭兵, 「隊長」です, つまり, 彼はこのジェノヴァ共和国において, 指揮官あるいは傭兵の隊長でした。		
230					うん。	
231			Umm, コルシカシマ[コルシカ島のこと] に渡って, 「[16]を読み飛ばす」世紀, a. ee. ろ, 16世紀頃に[日本語で発話する],	うーん, コルシカシマ[コルシカ島のこと]に渡って, 「[16]を読み飛ばす」世紀, あ, えー, 「ろ, 16世紀頃」に,		
232					うん。	
233			コルシカ[日本語で発話する], aa, ok, razumem.	「コルシカ」, ああ, はい, 分かりました。		
234					うん。	
235			Samo to še preverim[「土着」をjisho.orgに入力して検索する],	これ[土着]だけ確認します[「土着」をjisho.orgに入力して検索する。],		
236					ああ, この2つの漢字[土着]ですね。	
237			O, o, o, 土着[日本語で発話する], aa, indigenous[英語訳を発話する], se pravi, to je 土着した[日本語で発話する], mmn, 土着[日本語で発話する] bom samo še preveril še v tem [電子辞書],	ん, ん, ん, 「土着」, ああ, 「indigenous」[英語訳を発話する], つまり, これは「土着した」, んん, ん, ここ[電子辞書]でも「土着」だけを確認します。		
238					電子辞書。	
239			電子辞書[日本語で発話する], ja.	「電子辞書」, はい,		
240					うん。	
241			土着[「土着」を電子辞書に入力して検索する][日本語で発話する], Se pravi, no, v bistvu tukaj [「キストの読んでいる文」 piše, da se, v bistvu, po mojem, da so se tam naselili.	「土着」[「土着」を電子辞書に入力して検索する。], つまり, まあ, つまり, ここ[テキストの読んでいる文]は「居住した」と書いてあります, つまり, そこに居住したのだと思います。		
242					うん。	
243			Najbrž, od tam, tam naprej ži, naprej tam živel. Se pravi, še enkrat moram, mm [「傭兵隊長」を読み飛ばす], としてコルシカシマ[コルシカ島のこと]に渡って[日本語で発話する], o, o, o, se pravi, če sem prav razumel, je ta njegov prednik potem približno v 16. stoletju kot poveljnik, umm, teh plašancev,	たぶん, それから, それから, 住み, それから, そこに住みました, つまり, もう一度[読み飛ばす]なりません, 「それがジェノヴァ共和国の」, んん [「傭兵隊長」を読み飛ばす], 「としてコルシカシマ[コルシカ島のこと]に渡って」, ん, ん, ん, つまり, 私の解釈が合っているれば, この彼[ナポリオン]の祖先は, その, 16世紀頃に, うーん, この傭兵の隊長として,		
244					うん。	
245			Iz republike Genove prišel pač na Korziko.	ジェノヴァ共和国から, まあ, コルシカにきました。		
246					うん。	
247			In so pač od tam naprej, potem, od takrat naprej so potem pač živel tam, ta rodina, na Korziki. Oo, se pravi,	そして, まあ, それから, それから, まあ, この一族がそこ, コルシカに住んでいました, んん, つまり,		
248					うん。	
249			Naprej je potem,	そして続きは,		
250					続きは,	
251			判事をしてた父カルロは、1729年に始まっていたコルシカ独立戦争の指導者バスカル・パオリの副官を務めていたが、ナポリオンが生まれる直前にフランス朝に転向し、戦後に復讐りの見返りとしての報酬を受けてフランス貴族と同じ権利を得た。	「はん」[判のこと], これ[判事のこと]を確認します, うん, この漢字をjisho.orgで[検索します][「判事」をjisho.orgに入力して検索する],		
252					うん。	
253			Oo, 判事[日本語で発話する], ja, se pravi, sodnik, 判事をしていた父カル, カルロは[日本語で発話する], se pravi, da je ta oče bil potem sodnik,	んん, 「判事」は, つまり判事です, 「判事をしていた父カル, カルロは」, つまり, この父は判事をしていました。		
254					うん。	
255			せん, 1329年[1729年を1329年と間違える]に始まっていたコルシカ[日本語で発話する], o, o, o, to bom še preveril, A, no, saj lahko malo sklepam, 独立[日本語で発話する], se pravi, no, ja, v bistvu, gre pač za osvobo, pač odcepitveno ali osvobodilno vojno, samo še preverim pač,	「せん, 1329年[1729年を1329年と間違える],」に始まっていたコルシカ」, ん, ん, ん, これ[独立戦争のこと]も確認します, ああ, まあ, 推測はできますが, 「独立」, つまり, まあ, はい, つまり, まあ, 独, まあ, 分離か独立の戦争のことです, ただ, まあ, 確認します,		
256					うん。	
257			izgovorjavo, Tukaj, denshi.org [「独立戦争」をjisho.orgに入力して検索する],	読み方を, ここ, denshi.orgで検索します,][「独立戦争」をjisho.orgに入力して検索する],		
258					うん。	
259			Oo, 独立[日本語で発話する], pač to je neodvisnost, 闘争[日本語で発話する], je pa pač, se pravi, neke vrste, no, ja, pač, še kar vojna je neodvisnost, no, neke vrste pač,	んん, 「独立」, まあ, これは独立です, そして「闘争」は, まあ, つまり, 何らかの, まあ, はい, まあ, 何らかの独立の戦争です,		
260					うん。	
261			Ok, Se pravi, a samo še to vidim, 独立闘争[日本語で発話する], ok,	はい, つまり, あ, これだけ見てみます, 「独立闘争」, はい,		
262					少し確認してもいいですか。	
263			Ja,	はい,		
264					これ[1729年]の読み方は何ですか, あとこれ[どの言葉を指しているか不明],	
265			1329[1729年を1329年と間違える],	「1329」[1729年を1329年と間違える。],		
266					本当ですか[笑う], 脚訳は正しかったですが, 読み方はどうですか, そしてこの数字の,	
267			Aa, Aa, なな「7」のこと, ななひやく「700」のこと[日本語で発話する], se opravilujem,	ああ, ああ, 「なな」[7のこと], 「ななひやく」[700のこと], すみませんでした,		
268					「聞き取り不能。」	
269			To ja,	これは,		
270					いいえ, 全然,	
271			Ne da bi vedel, ampak,	わざとではなくて,		
272					[笑う,]こう, 無意味にですね,	

273				Ja, ja, človek kar avtomatsko nekako,	はい、はい、何か無意識に。		
274					はい、はい、		
275				Čeprav, ne, se mi zdi, da sta 3 in 7 včasih rahlo, tako, malo blizu, in potem se zdi, da človek pod,	ただですね、3と7が、たまにこう、少し近くにある気がして、それで無意識に、		
276						[笑う。]	近くにあるとはどういうことですか。
277				Podzvestno,	無意識に「間違えてしまいます」。		
278						[人]に、	
279				Ne, v bistvu, pač,	いいえ、つまり、まあ、		
280						人に近いですか。	
281				Ne, pač, podzvestno se zmotiš,	いいえ、まあ、無意識に間違えてしまいます。		
282						[笑う。]	
283				In potem se ti zdi, samemu sebi se ti zdi, pač, da je pravilno, se pravi, ja,	そして、自分にとって、自分が、まあ、正しく感じて、つまり、		
284						両方いい数字ですからね。	
285				1700, 1700 in tako naprej,	1700, 1700などです。		
286						大したことないです。	
287				Hvala, ker ste me opozorili, ja,	指摘をしてくださって、ありがとうございます。		
288						[笑う。]	
289				Ok, začem? [[「始まって」のこと]] [[日本語で発話する]], o, to bom še preveril [[「指導者」をjisho.orgに入力して検索する]]. 指導者 [[日本語で発話する]], no, v bistvu, pač, tukaj niti ni treba kaj dosti preverjati, pač, ja, 指導者 [[日本語で発話する]] je, se pravi, da je voditelj pač te osvobodilne vojsne,	はい、「始まって」[[「始まって」のこと]], んん、これ [[「指導者」を確認します]] [[「指導者」をjisho.orgに入力して検索する]]. 「指導者」、まあ、つまり、まあ、ここは確認することはありません。まあ、「指導者」は、つまりこの独立戦争の指導者です。		
290						うん。	
291				バスカル・パオリ [[日本語で発話する]].	「バスカル・パオリ」。		
292						うん。	
293				Se pravi Pascal Pao, mm, tu bom mogoče samo preveril, kako je original [[Wikipediaの「バスカル・パオリ」のページを確認する。おそれから英語版か日本語版だが正確には不明]]. Aa, Pascale [[イタリア語で発話する]]. Pascal Paoli [[フランス語訳を発話する]].	つまり、バスカル・パオ; んん、ここでは元の言葉を確認します [[Wikipediaの「バスカル・パオリ」のページを確認する。おそれから英語版か日本語版だが正確には不明]]. ああ、「Pascale」[[イタリア語で発話する]]. 「Pascal Paoli」[[フランス語で発話する]]です。		
294						うん。	
295				Mn, to je to, Mm, バスカル・パオリのふ [[「副官」を最後まで読まない]] [[日本語で発話する]], a, to bom pa preveril, ja [[「副官」をjisho.org入力して検索する]]. Mmm, ふ, 副官 [[日本語で発話する]], se pravi, da je bil njegov adjutant, oziroma, to bom pa preveril, ker nisem prepričan, kako je v slovensi čini, da ne bom kakšne neumnosti rekel [[「副官」の英語訳「adjutant」をPONSに入力して検索する]]. O, o, o, adjutant, no, ja, v bistvu, ja, tudi v slovensi čini, pač, ali generalov adjutant,	んん、こういうことです。 んん、「バスカル・パオリのふ [[「副官」を最後まで読まない]]」。 あ、これは確認します [[「副官」をjisho.org入力して検索する]]. うん、「ふ、副官」、つまり彼の副官でした。あるいは、スロベニア語訳がよくありませんから、これを [[スロベニア語で]] 確認します。間違いたくないので [[「副官」の英語訳「adjutant」をPONSオンライン多言語辞書に入力して検索する]]. ん、ん、ん、副官 [[スロベニア語訳を言う]]. まあ、はい、つまり、はい、スロベニア語でも、まあ、司令官の副官。		
296						うん。	
297				Oziroma, pač, adjutant. Pač je nek vojaški naziv, no,	あるいは、まあ、副官です。まあ、何らかの軍隊の階級ですね。		
298						うん。	
299				を稼いでいたが [[日本語で発話する]]. se pravi, da, da je ta, pač, oče od Napoleona Bonaparta Karlo, umm, služi, kot, umm, adju, a, ne, oziroma, pač, ni, ne, ta njegov oče Karlo, ki je drugače bil pač sodnik,	「を稼いでいたが」、つまり、この、まあ、ナポレオン・ボナパルトの父カルロが、うーん、副官を務めていたが、あ、いいえ、そうではなくて、まあ、いいえ、いええ、彼 [[ナポレオン]] の判事をしていた父カルロは、		
300						うん。	
301				Je potem služil kot adjutant od Pascala, tega Pascala Paolija,	その後、このバスカラ、バスカル・パオリの副官を務めていました。		
302						うん。	
303				Ki je bil vodja pač te korziške, pač vodja te korziške, pač, bitke, korziškega gibanja za neodvisnost,	「バスカル・パオリ」は、]このコルシカの、まあ、このコルシカの、まあ、闘争、コルシカの独立戦争の指導者で、		
304						うん。	
305				Ki se je pričelo leta 1729,	「コルシカ独立闘争」は1729年に始まりました。		
306						うん。	
307				Ampak,	ですが、		
308						しかし、	
309				Potem pač nadaljuje,	続けます。		
310						はい。	
311				ナポレオンが生まれる直前 [[日本語で発話する]], samo to še preverim,	「ナポレオンが生まれる直前」、これ [[直前]] だけ確認します。		
312						うん、直前。	
313				Nisem prav popolnoma, samo preverim še,	完全 [[「意味を理解している訳」ではないので、少し確認します。]		
314						意味を。	
315				V jisho [[jisho.orgのこと]] [[「直前」をjisho.orgに入力して検索する]].	jisho [[jisho.orgのこと]] [[「直前」をjisho.orgに入力して検索する]] で、		
316						うん。	
317				Ja, ravno prej, ravno malo preden, malo prej,]に、フランス側に [[日本語で発話する]], aha, 「聞き取り不能」、umm, ナポレオンが生まれる直前にフランス側に [[日本語で発話する]]. mislim, tukaj pa & 転向 [[日本語で発話する]], no, saj pač razumem, da je prestop na francosko stran [[「転向」をjisho.org入力して検索する]].	はい、少し前、その直前、少し前、 [[「に、フランス側に」]], ああ [[「聞き取り不能」]], うーん、「ナポレオンが生まれる直前にフランス側に転向」]. まあ、ここは、「転向」、まあ、フランス側に転向したということでは理解しています [[「転向」をjisho.org入力して検索する]].		
318						うん。	

319		Oo, ja, pač, conversion, shift[辞書検索で出てきた英語の類義語][英語で発話する]. ampak, ja, v bistvu, v tem primeru je pač prestopil.	んん、はい、まあ、「conversion, shift」[辞書検索で出てきた英語の類義語][英語で発話する]、ですが、はい、要するに、この場合は、まあ、転向したという意味です。		
320				うん。	
321		O, o, o, se pravi, da je potem, malo preden se je Napoleon rodil, je pač potem njegov oče očitno prestopil na francosko stran.	ん、ん、ん、つまりその後、ナポレオンが生まれた直前、まあ、そのあと彼の父がフランス側に転向したようです。		
322				うん。	
323		戦後に[日本語で発話する]. umm, bom to še preveril, ta knjiga, to besedo, no, v jisho.org [「見返り」をjisho.orgに入力して検索する].	「戦後に」、うーん、これ[見返り]も、この漢字を、まあ、この言葉をjisho.orgで確認します[「見返り」をjisho.orgに入力して検索する]。		
324				うん。	
325		A, se pravi, no, pač, izdaja [笑う].	あ、つまり、まあ、裏切りです[笑う].		
326				[笑う.]	
327		[笑う.] Logično pač, ker je prestopil, ne.	[笑う.]まあ、当たり前です、転向したのですからね。		
328				うん。	
329		Umm, 見返りへの見返り[日本語で発話する]. oh, samo to da vidim še, kaj je ta 見返り[「見返」をjisho.orgに入力して検索する]. 見返し[日本語で発話する].	うーん、「見返りへの見返り」、あ、これ[見返り]だけ、この「見返り」を確認します[「見返」をjisho.orgに入力して検索する]。「見返し」。		
330				うん、Jisho.orgに入力したのは2つの漢字だけです。	
331		Ja, sem dal.	はい、入力したのは、		
332				で、出てきたのは「見返し」。	
333		見返り.	「見返り」です。		
334				「見返り」、「見返す」。	
335		Aa, ok, se pravi nagrada, kompenzacija. Oo, se pravi, da je očitno bil pač [笑う] po vojni nagrajen za to svojo izdajo, ne.	ああ、はい、つまり報酬、補償です。うん、つまり[笑う]。戦後にこの自分の裏切りに対して、まあ、報酬をもらったみたいですね。		
336				はい[笑う]。	
337		Umm, in tukaj bom preveril še to besedo v jisho.org [「報酬」をjisho.orgに入力して検索する].	うーん、そして、これも、この言葉[報酬]もjisho.orgで確認します[「報酬」をjisho.orgに入力して検索する]。		
338				はい。	
339		Oo, 報酬[日本語で発話する]. ja, pač da je dobil nekaj, predvidevam, pač denarno nagrado ali kompenzacijo.	うん、「報酬」、はい、まあ、おそらく賞金か報酬をもらったのだと思います。		
340				うん。	
341		報酬を受けて、フランス[日本語で発話する]. o, o, o, še to preverim, Франс[日本語で発話する]. bo kakšen 貴族[日本語で発話する] si kaj takega [「貴族」をjisho.orgに入力して検索する]. Ja, pač, Франс貴族[日本語で発話する].	「報酬を受けて、フランス」ん、ん、ん、これ[貴族]を確認します。「フランス」、「貴族」か何かで、うーん[「貴族」をjisho.orgに入力して検索する]。はい、まあ、「フランス貴族」です。		
342				うん。	
343		同じ権利を得た[日本語で発話する]. Misim, da je tukaj 権利[日本語で発話する]. če se ne motim. Se to preverim [「権利」をjisho.orgに入力して検索する]. O, o, o, se pravi, ja, se pravi, da je dobil za to izdajo potem.	「同じ権利を得た」。私が間違っていないければ、これは「権利」だと思います。これも確認します[「権利」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、つまり、はい、つまり、後でその裏切りに対して[報酬を]もらいました。		
344				うん。	
345		Denarno nagrado in da je tudi dobil pač enakem da je imel privilegije, pridobil je enake privilegije, kot jih ima pač, kot jih je imelo francosko plemstvo.	賞金を「もらい」、そして同じ[権利]も得ました。まあ、権利を得た、フランス貴族が持つ、まあ、持っていたのと同じ権利を得ました。		
346				うん。	
347		Oo, se pravi, potem nadaljuje.	んん、つまり、続けます。		
348				うん。	
349	旧ジェノヴァ共和国領であるコルシカ島には貴族制度がなかったが、新貴族としての身分を奪われて認められたことで特権を得て、フランス本土への足がかりを得た父カルロは、コルシカ総督とも懇意になり、その後援でナポレオンと兄ジュゼッペ(ジョゼフ)に教育を施すためにフランス本土に送った。	旧ジェノヴァ共和国 領[日本語で発話する]. a, samo to še preverim [「領」をjisho.orgに入力して検索する]. Misim, pač, vem, da gre za teritorij, no, ampak	「旧ジェノヴァ共和国 領」、あ、これ[領]だけ確認します[「領」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、領域のことだとは分かっていますが、		
350				うん。	
351		Samo preverim še enkrat. Umm, 領[日本語で発話する]. ja.	もう一度確認します。うーん、「領」、はい。		
352				領。	
353		Pač, teritorij je.	まあ、領域です。		
354				うん。	
355		Se pravi območje te stare, pač prejšnje, te stare republike Genove.	つまり、この古い、まあ、元の、この旧ジェノヴァ共和国の地域です。		
356				うん。	
357		であるコルシカシマ[コルシカ島のこと]は[日本語で発話する]. se pravi, pač, da ta Korzika, pač stek Korzika je bil včasih, pač, del te stare, pač, republike Genove.	「であるコルシカシマ[コルシカ島のこと]は」、つまり、まあ、このコルシカ、コルシカ島は昔、まあ、この旧、まあ、ジェノヴァ共和国の一部でした。		
358				うん。	
359		には貴族制度がなかったから[日本語で発話する]. se pravi, pač, da niso imeli, umm, te plemiške oblasti.	「には貴族制度がなかったから」、つまり、まあ、この貴族制度が、うーん、ありませんでした。		
360				うん。	
361		Umm, 新貴族として[日本語で発話する]. umm, 身分を[日本語で発話する]. se pravi, to samo še malo preverim [「身分」をjisho.orgに入力して検索する]. Misim, da je 身分[日本語で発話する] kot pač položaj, družbeni ali nekaj, ja, ja, točno, družbeni položaj.	うーん、「新貴族として」、うーん、「身分を」、つまり、これだけ少し確認します[「身分」をjisho.orgに入力して検索する]。「身分」は立場のようなものだと思います。社会的とか、はい、はい、その通り、社会的立場です。		
362				うん。	

363		自分を[日本語で発話する]。mmm, se to preverim [「晴れて」をjisho.orgに入力して検索する]。Oo, se pravi, pač, javno.	「自分を」。んんん、これ[晴れて]も確認します [「晴れて」をjisho.orgに入力して検索する]。んん、つまり、まあ、晴れて[という意味です]。		
364				晴れて。	
365		認められたことで。	認められたことで。		
366				うん。	
367		Se pravi, da se, da je bil njegov, da je bil njegov status, družbeni status kot, pač to, umm, novo plemstvo.	つまり、彼の、彼の身分は、社会的身分は、まあ、この、うーん、新貴族として[の身分]が、		
368				うん。	
369		Umm, javno pač, pač mi [おそろ「認められた」と日本語で言おうとする]。priznan, ne.	うーん、晴れて、まあ、まあ、「み」[おそろ「認められた」と日本語で言おうとする]。認められたのですね。		
370				うん。	
371		Umm, ことでと(けん「特権」のこと)を得て[日本語で発話する]。	うーん、「ことでと(けん「特権」のこと)を得て」。		
372				うん。	
373		Se pravi, da je dobil neke posebne pravice. Bom samo še preveril [「特権」をjisho.orgに入力して検索する]。	つまり、何らかの特権を得ました。少し確認します [「特権」をjisho.orgに入力して検索する]。		
374				うん。	
375		特権[日本語で発話する]。mislim, da je 特権[日本語で発話する]。ja.	「特権」、「特権」だと思います。はい。		
376				うん。	
377		Pač imel je, ja, pač privilegije, を得て[日本語で発話する]。se pravi, da je pač pridobil pač neke privilegije. フランス[日本語で発話する]。oo, ほん[日本語で発話する]。umm, ほんち [「本土」のこと][日本語で発話する]。pač samo še to preverim malo [「本土」をjisho.orgに入力して検索する]。Pač vem, da pač gre za pač Francijo pač samo po sebi, 本土[日本語で発話する]。se pravi pač to celinsko Francijo, pač pravo Francijo.	まあ、特権を、はい、まあ、持っていました。「を得て」、つまり、まあ、何らかの特権を、まあ、得ました。「フランス」。うん。「ほん」。うーん。「ほんち」[「本土」のこと]。まあ、あとこれ[「本土」を少し確認します][「本土」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、これは、まあ、フランス自体だとは分かっていますが、「本土」[とは]、つまり、まあ、この大陸[島ではなくて大陸国家という意味]のフランス、まあ、フランスそのもののことです。		
378				うん。	
379		本土への足がかりを得た[日本語で発話する]。se pravi, 足[日本語で発話する]。preverim [「足がかり」をjisho.orgに入力して検索する]。Pač predvidevam, da si je tem odprl pač, no, pač, ja, seveda, pač je foothold [英語で発話する]。se pravi pač malo v prenesenem pomenu, da si je odprl pot do pač Francije, ne.	「本土への足がかりを得た」、つまり「足」、この「足がかり」を確認します [「足がかり」をjisho.orgに入力して検索する]。まあ、たぶんこれで[道を]開いて、まあ、はい、もちろん、まあ、「foothold」[英語で発話する]です。つまり、例えで言っているのですが、フランスへの道を開いたのですね。		
380				うん。	
381		Je postal ta plemič, 父カルロはコルシカ総[「総督」のこと][日本語で発話する]。a, tukaj še preverim to tukaj, to besedo za Korziko [「総督」をjisho.orgに入力して検索する]。O, o, o, pač prvi del poznam, ker je ta 総[日本語で発話する]。pač, se pravi, nekaj [検索が続く中で途中で説明をやめる]。aa, 総督[日本語で発話する]。	「ナポレオンの父は」貴族になりました。「父カルロはコルシカ総[「総督」のこと]」。あ、ここはこの「総督」、こここのコルシカの後に来る言葉を確認します [「総督」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、最初の部分[総]は知っています。この「総」は何らかの[検索が続く中で途中で説明をやめる]。ああ、「総督」です。		
382				うん。	
383		Se pravi guverner, oziroma guverner general. とも[日本語で発話する]。o, o, o, tukaj samo še ta kraj[「懸念」] preverim [「懸念」をjisho.orgに入力して検索する]。Oo, to je potem 懸念[日本語で発話する]。	つまり長官が総督です。「とも」。ん、ん、ん、ここはこの漢字「懸念」も確認します [「懸念」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、そしてこれは「懸念」です。		
384				うん。	
385		Aha, ok, se pravi, da, se pravi, da, da je bil pač, umm, ta njegov pač oče Carlo, da je bil tudi, da sta bila prijatelja s tem guvernerjem Korzike.	ああ、はい、つまり、つまり、まあ、うーん、この彼「ナポレオン」の、まあ、父カルロはこのコルシカ総督とも友達でした。		
386				うん。	
387		In その[日本語で発話する]。oo, mmm [「後援」をjisho.orgに入力して検索する]。oo, še to preverim, 後援[日本語で発話する]。a, se pravi, pač, podpora.	そして「その」。うん、「[「後援」をjisho.orgに入力して検索する]。んん、あとこれを確認します。「後援」。あ、つまり、まあ、後援ですね。		
388				うん。	
389		その後援でナポレオンと兄ジュ、ジュセッポ、ジュセッペ[日本語で発話する]。se pravi, da s to pač podporo sta Napoleon in njegov pač starejši brat Giuseppe, umm, に教育を日本語で発話する]。mmm, to preverim na jisho.org [「施す」をjisho.orgに入力して検索する]。	「その後援でナポレオンと兄ジュ、ジュセッポ、ジュセッペ」、つまり、この、まあ後援で、ナポレオンと彼の、まあ、兄のジュセッペが、うーん、「に教育を」んんん、これ[「施す」をjisho.orgで検索します][「施す」をjisho.orgに入力して検索する]。		
390				うん。	
391		Oo, 施す[日本語で発話する]。	んん、「施す」です。		
392				うん。	
393		Se pravi, da bi pač prejela to [「後援」のために、フランス本土に送った][日本語で発話する]。se pravi, da zavoljo pač te podpore, se pravi, pač, ker je bil pač njegov oče prijatelj z guvernerjem in tako naprej, ker je bil ta nov plemič, ker je imel plemičke pravice, je potem lahko poslal pač Napoleona in njegovega starejšega brata Giuseppea v Francijo, zato da sta potem tam pridobila izobrazbo.	つまり、この[「後援」のために、「ために、フランス本土に送った」]。つまり、この、まあ、後援のおかげです。つまり、まあ、彼の父は総督と友達で、さらにこの新貴族[になったおかげで]、貴族の権利がありましたから、まあ、ナポレオンと彼の兄のジュセッペが教育を受けるように、フランスに送ることができました。		
394				そうです。	
395		Ok.	はい。		
396				うん。	
397	ナポレオンは初め修道院付属学校に短期間だけ入っていたが、すぐに貴族で貴族の子弟が学ぶプリエンヌ陸軍幼年学校(6)に1779年に入学し、数字で後継の成績をおさめたという。	ナポレオン[日本語で発話する]。potem naprej naslednji odstavek.	「ナポレオン」。次の段落です。		
398				うん。	
399		ナポレオンは初め[日本語で発話する]。o, o, o, tukaj bom malo preveril. Pač tukaj je naziv te šole, しゃ、修道院[日本語で発話する]。bom samo malo preveril to na jisho.org [「修道院」をjisho.orgに入力して検索する]。	「ナポレオンは初め」。ん、ん、ん、ここは少し確認します。まあ、ここはこの学校の名称があります。「しゃ、修道院」。少しこれ[「修道院」をjisho.orgで確認します][「修道院」をjisho.orgに入力して検索する]。		
400				では、この3つの漢字を。	
401		Ja, sem te tri kanjije.	はい、この3つの漢字を[検索します]。		

402					検索しました。	
403			修道院[日本語で発話する]. aa, se pravi je, je pa č, v bistvu, umm, samostan.	「修道院」。ああ、つまりこれは、まあ、つまり、うーん、修道院です。		
404					うん。	
405			Mmm, samostan, bom tukaj še naprej preveril pač drugi del te besede. Pač ker je ista beseda, ampak sam posebej pogledal[「付属」か「付属学校」をjisho.orgに入力して検索する]。O, o, o, 付属学校[日本語で発話する]. se pravi pravzaprav šola, ki je, pač, ki ima neke vezi s samostanom.	んんん、修道院、ここもまずこの言葉[「付属」か「付属学校」]を確認します。同じ言葉ですが、1つずつ確認しました[「付属」か「付属学校」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん[「付属学校」、つまり、この学校は、まあ、修道院と何らかのつながりがある学校です。		
406					うん。	
407			No, pač, zdaj bi rekli verjetno katoliška šola.	まあ、今でしたら、おそらくカトリック学校というでしょう。		
408					うん。	
409			を短期間だけ入っていたが[日本語で発話する]. se pravi, da je bil pač Napoleon sprva, pač sprva je bil pač v tej samostanski šoli, oziroma v tej šoli povezani s samostanom samo za krajše obdobje.	「を短期間だけ入っていたが」、つまり、まあ、ナポレオンは最初に、まあ、最初に、まあ、この修道院学校、この修道院付属学校に短期間だけ入っていました。		
410					うん。	
411			すぐに国費で[日本語で発話する]. amn, mislim, da je pač na državne stroške, no, mislim, bom samo še preveril[「国費」をjisho.orgに入力して検索する]。Saj včasih preverim tudi malo brezvezno[笑う]。	「すぐに国費で」。あ、う、これは、まあ、国費だと思います。まあ、そうだと思います。少し確認します[「国費」をjisho.orgに入力して検索する]。時々、あまり必要なくても確認しますが[笑う]。		
412					うん[笑う]。	
413			国費[日本語で発話する]. no, pač na državne stroške.	「国費」ですね。まあ、国費です。		
414					確かめるためですね。	
415			貴族の、こ[「子弟」の「子」のこと][日本語で発話する]. mmm, še to preverim, jisho.org[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する]。Se pravi, je, co[「子弟」の「子」のこと][日本語で発話する]. a, 子弟[日本語で発話する].	「貴族の、こ[「子弟」の「子」のこと]」。うん、これも確認します。jisho.orgで[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する]。つまりこれは、こ[「子弟」の「子」のこと]。あ、「子弟」です。		
416					うん。	
417			Se pravi mlajši pač ljudje, oziroma[途中で説明をやめて文を読み続ける]。子弟が学ぶプリエン、プリエンズ[日本語で発話する]. a, samo to še preverim, ta naziv tukaj.	つまり若い、まあ、人、または[途中で説明をやめて文を読み続ける]。[「子弟が学ぶプリエン、プリエンズ」]。ん、ん、ん、[「付属」]。あ、この名称だけ確認します。		
418					うん。	
419			O, o, o[おそらく「陸軍」をjisho.orgに入力して検索する]。	ん、ん、ん[おそらく「陸軍」をjisho.orgに入力して検索する]。		
420					[聞き取り不能。]	
421			Se pravi, da očitno ta šola Brienne, v katero so hodili taji mladi plemiči.	つまり、やはり、この若い貴族が通っていた[のは]、このプリエンズという学校です。		
422					うん。	
423			In v katero je šel pač na državne stroške, zdaj bom še to preveril, pač za kaj gre.	そして、[ナポレオンが]国費で通っていた[学校は]、今これ[「陸軍幼年学校」]もどういうことが確認します。		
424					まず、この2つの漢字ですね。	
425			Oziroma,ne, saj v bistvu,ja, 陸軍[日本語で発話する]. oo, se pravi, najboljša, da kar vse vstavim[おそらく「陸軍幼年学校」をjisho.orgに入力して検索する]。A, ne, ne bo šlo. Se pravi, da je treba po kosih to preveriti.	あるいは、まあ、要するに、はい、「陸軍」。んん、つまり、全部入力するのが一番です[おそらく「陸軍幼年学校」をjisho.orgに入力して検索する]。あ、いいえ、駄目です。つまり、1つずつ確認しなければなりません。		
426					うん、3つの漢字[おそらく「陸軍」と「幼年」と「学校」の3つの言葉]だったら出てきませんか、	
427			[「陸軍」のみをjisho.orgに入力して検索する。] Se pravi, se pravi, da ta 陸軍[日本語で発話する.] gre za vojsko.	[「陸軍」のみをjisho.orgに入力して検索する。]つまり、つまりこの「陸軍」は陸軍です。		
428					うん。	
429			Potem dam še preostali del[「幼年学校」をjisho.orgに入力して検索する]。	そして、残りの部分も入力します[「幼年学校」をjisho.orgに入力して検索する。]。		
430					うん。	
431			O, o, o, 幼年[日本語で発話する]。o, o, o, 幼年学校[日本語で発話する]。	ん、ん、ん、「幼年」。ん、ん、ん、「幼年学校」。		
432					うん。	
433			Oo, bom samo še preveril v 電子辞書[日本語で発話する]。	んん、あと「電子辞書」でも確認します。		
434					うん、どの言葉をですか。	
435			Ta 幼年学校[日本語で発話する]。	この「幼年学校」です。		
436					幼年、うん、「幼年学校」は全部一緒に検索しますか。	
437			Ja.	はい。		
438					うん。	
439			Če dobim kaj[「幼年学校」を電子辞書に入力して検索する]。A, se pravi, v bistvu to je pač vojaška preparatory school[英語で発話する]。Samo še ta preparatory[英語で発話する]。	「幼年学校」が見つければ[「幼年学校」を電子辞書に入力して検索する]。あ、つまり、要するに、これは、まあ、陸軍の[preparatory school][英語で発話する]です。あとはこの[preparatory][英語で発話する]だけ[確認します]。	英語の「preparatory」だけでは、日本語で「予備」という意味になるため、「幼年」ではなく「予備」と記載しました。	
440					うん、今はPONS[オンライン多言語辞書]に移りますか。	
441			PONS, ja.	PONS、はい。		
442					[笑う。]びよん、びよん、びよん。	
443			[「幼年学校」の「幼年」の英語訳「preparatory」をPONSに入力して検索する。] Preparatory[英語で発話する]。a, saj je tudi preparatory school, No, še boljše. Se pravi, pač, o, o, o, v bistvu, no, ja, pač ta pripravna šola za vojsko.	[「幼年学校」の「幼年」の英語訳「preparatory」をPONSに入力して検索する。]Preparatory[英語で発話する]。あ、「幼年学校」[という見出し語][英語で発話する]もあります。良かったです。つまり、まあ、んんん、要するに、まあ、はい、まあ、この陸軍幼年学校です。		
444					うん。	

445			Jā, pač pripravljana šola za vojsko, se pravi, gremo še enkrat skozi. Oo, potem je pač sprva bil za krajše obdobje v tej, pač, samostanski šoli in potem je na državne stroške šel pač v to vojaško pripravljajo, pripravljajo šolo Brienne, ki je pač namenjena tem mladim plemičem.	はい、まあ、陸軍幼年学校です。つまり、もう一度説明します。んん、それから、まあ、まずは短期間この、まあ、修道院付属学校に在籍し、そして国費で、まあ、この若い貴族、まあ、のためのプリエンヌ陸軍幼、陸軍幼年学校に入学しました。		
446					うん。	
447			In, aja, se pravi, vstopil je pa 1779年[日本語で発話する], se pravi leta 1779 je pač u[日本語で発話する], se pravi, da je pač vstopil v to šolo.	そして、ああ、つまり、入学したのは「1779年」、つまり1779年に。まあ、「入学」、つまり、まあ、この学校に入学しました。		
448					うん。	
449			数学[日本語で発話する]。	「数学」。		
450					ああ、どの学校ですか。	
451			Umm, to, umm, Brienne.	うーん、この、うーん、プリエンヌです。		
452					プリエンヌ、うん、はい。	
453			Oo, se pravi, potem je 数学で[日本語で発話する], o. o. o, tukaj bom še nekaj preveril[「抜群」をjisho.orgに入力して検索する]。O. o. o, 抜群[日本語で発話する], se pravi, da je bil odločen v matematiki, očitno [笑う]。	うん、つまり、次は「数学で」、ん、ん、ん、ここも少し確認します[「抜群」をjisho.orgに入力して検索する]。「抜群」、つまり数学に慣れていたようです[笑う]。		
454					[笑う。]	
455			[笑う。]	[笑う。]		
456					まだ最後まで読んでいませんでしたね。	
457			成績をおさめたという[日本語で発話する]。	「成績をおさめたという」。		
458					うん。	
459			Se pravi, da se govori, pač da je bil, da je imel zelo dobre ocene in da je bil odločen v matematiki.	つまり、まあ、彼は、彼は非常に成績が良く、数学に慣れていたようです。		
460					そうです。	
461	1784年にバリの陸軍士官学校(fr)に入学。		Ooo, 1789年[「1784年」の言い間違い]に[日本語で発話する]。	んんん、「1789年[1784年の言い間違い]に」。		
462					もう一度お願いします[笑う]。	
463			1784年に[日本語で発話する]。	「1784年に」。		
464					はい。	
465			バリの陸軍どころか[「士官」の言い間違い]学校[日本語で発話する]。a, to bi bilo, vseeno pravijo, pač za tisti 陸軍[日本語で発話する] zdaj pač vem, da je pač ta vojska, nekaj z vojsko povezano.	「バリの陸軍どころか[「士官」の言い間違い]学校」、あ、これは念のために確認します。まあ、その「陸軍」は今、まあ、この陸軍、陸軍と関係のある何かなのはわかります。		
466					はい。	
467			Pač ta t[「土」を「土」と言い間違い][日本語で発話する], se pravi, da je pač celotna vojska, pač 6 pehota, predvidevam, ta 官[日本語で発話する] je potem neke vrste, pač, kako bi rekel, kakor naziv ali pač nek položaj.	まあ、この「つち」「土」を「土」と言い間違い]は、つまり、まあ、大陸の軍隊、まあ、たぶん歩兵6 pehota、predvidevam, ta 官[日本語で発話する]は「土」と読んだため、歩兵のことが書かれていると勘違いした)のことです。そして、この「官」は何らかの、まあ、何と言えはいいですかね、名称か、まあ、立場のようなものです。		
468					うん。	
469			Včasih, ponevadi, tako pač, birokracija in te zadeve.	時々、普通は、こう、まあ、官僚やそれらのことです。		
470					うん。	
471			学校[日本語で発話する] je pa pač šola, ne.	「学校」は、まあ、学校ですね。		
472					うん。	
473			Pač skupaj bi rad pogledal, no, še v 電子辞書[日本語で発話する], oziroma ta denshi.org[jisho.orgのこと]。	まあ、これは[「陸軍士官学校」という言葉を]一緒に「電子辞書」か、またはこのdenshi.org[jisho.orgのこと]で調べたいですな。		
474					うん。	
475			Če kaj dobim [「陸軍士官学校」をjisho.orgに入力して検索する]。陸軍士官学校[日本語で発話する], no [笑う], sem dobil pač tudi v 電子辞書[jisho.orgのこと][日本語で発話する] celotno besedo, pač vojaška akademija.	何か見つければいいのですが[「陸軍士官学校」をjisho.orgに入力して検索する]。「陸軍士官学校」、まあ[笑う]「電子辞書」[jisho.orgのこと]でも全単語の言葉を見つけました。まあ、陸軍士官学校です。		
476					ああ、「土」ではなくて、「土」だったんですね？	
477			陸軍士官[確認しながらゆっくり日本語で発話する], aha, ok, se pravi 陸軍士官学校[確認しながらゆっくり読む]。[日本語で発話する], se pravi vojaška akademija.	「陸軍士官」[確認しながらゆっくり読む]。ああ、はい、つまり「陸軍士官学校」[確認しながらゆっくり読む]、つまり陸軍士官学校です。		
478					下の方[「土」の3番目の画]は短いですね。	
479			Mhm.	うん。		
480					「土」はこうで、「土」はこうです[書く]。	
481			Aja, točno, ja, ja, tukaj, ja, aja, točno, ja, sem zamešal, ja.	ああ、そうでしたね。はい、はい、ここ、はい、ああ、そうです。はい、間違えました。はい。		
482					うん。	
483			Točno, ja.	そうでしたね。		
484					ですからシ[土]と読みます。	
485			Ker, ja, drugače 土[日本語で発話する] je pač tudi 武士[日本語で発話する] ali pa gospod, lahko je pa tudi bojevnik ali pa vojak, ne.	これは、はい、「土」は、まあ、「武士」でもあるし、あるいは紳士、武士や兵士ですね。		
486					うん。	
487			Pač 兵士[日本語で発話する], ne.	まあ、「兵士」ですね。		
488					うん。そうですね、兵士。	
489			O. o. o, se pravi, gre za vojaško akademijo, da je leta 1784 šel pač se je vpisal v to pentiko vojaško akademijo.	ん、ん、ん、つまり陸軍士官学校のことです、1784年からこのバリの陸軍士官学校に行つて、まあ、入学しました。		
490					うん。	

527			左右することになる。使った。は[日本語で発話する]。se pravi, da pač, da ta taktika, oziroma, ja, taktika, pač, uporabe toplotne je imela potem velik vpliv na njegovo usodo.	「左右することになる。使った。は。」つまり、まあ、この戦術、あるいは、はい、まあ、大砲を使つた戦術は、その後、彼の運命に大きな影響を与えました。		
528					うん。	
529			Pač, življenjsko usodo.	まあ、運命に[影響を与えました]。		
530					うん。	
531		卒業試験の成績は58人中42位であったものの、通常の在籍期間が4年前後であるところを、わずか11か月で必要な課程を修了したことを考えれば、むしろ非常に優秀な成績と言える。	Umm, 卒業試験の成績は58人中42位であって[笑う]。であったもの[笑う]。であったものの[日本語で発話する]。	うーん、「卒業試験の成績は58人中42位であって[笑う]。であったもの[笑う]。であったものの。」		
532					[笑う。]	
533			Se pravi, da kljub temu, da je bil na zaključnem izpitu, da je bil pač po oceni od, med, od 28 teh kandidatov na 42. mestu.	つまり、卒業試験で、まあ成績が、候補者28[58を間違えて28と言う]人中の42位だったにもかかわらず。		
534					うん。	
535			Umm, 通常の[日本語で発話する。]。se pravi navadno,	うーん、「通常の」。つまり普通[ということです]。		
536					うん。	
537			Pač, o, o, o. Še to preverim, jisho.org 在籍[日本語で発話する][「在籍」をjisho.orgに入力して検索する]。在籍期間[日本語で発話する]。se pravi 在籍[日本語で発話する]。je pač čas, oziroma ta časovni interval. 在籍期間が4年後であるところを[日本語で発話する]。o, o, o. 通常の、4年、前後[日本語で発話する]。と、ところ[日本語で発話する]。samo tukaj še nekaj preverim [「前後」をjisho.orgに入力して検索する]。Mmm, 前後[日本語で発話する]。približno, se pravi, 前後であるところを[日本語で発話する]。	まあ、んんん、あと、これを確認します。jisho.orgで「在籍」を「在籍」をjisho.orgに入力して検索する。「在籍期間」、つまり「在籍」は在籍で、「期間」は、まあ、時間またはこの期間です。「在籍期間が4年後であるところを」。ん、ん、ん、「通常の、4年、前後、ところ」、ここだけ確認します[「前後」をjisho.orgに入力して検索する]。ん、ん、ん、「前後」、大体、つまり「前後」であるところを。		
538					うん。	
539			わずか11か月で必要な課程を修了したことを考えればむしろ非常に優秀な成績と言える[日本語で発話する]。A, se pravi, da pač kljub temu, da je bil 42. bit[日本語で発話する]。	「わずか11か月で必要な課程を修了したことを考えればむしろ非常に優秀な成績と言える」。あ、つまり、「42位」だったのに。		
540					うん。	
541			Je pač on opravił pač to, ta trening, ki običajno pač vzame, koliko, približno štiri leta, je on opravił v samo 11 meseci.	まあ、彼[ナポリオン]は、この、普通、どれぐらい、大体4年が、まあ、かかるこの訓練[課程のこと。]を、まあ、わずか11か月で終了しました。		
542					うん。	
543			V pač teh 11 mesecih je, 過程を[日本語で発話する]。pač v teh 11 mesecih je opravił vse potrebno te, pač, predmete.	まあ、この11か月で、「過程」を、まあ、この11か月で必要な、この、科目を全て終了しました。		
544					うん。	
545			In če pač vzamemo to v ožir, pač, je to v bistvu zelo, pač, izjemno dobra ocena pač glede na to, da je končal pač ta trening, oziroma to izobrazbo, končal, namesto v štirih letih jo je končal v 11 meseci.	そして、まあ、これ[11か月で終了したことを考えれば、まあ、これは要するに、とても、まあ、非常にいい成績です。まあ、この訓練を終了、この過程を4年間ではなくて、11か月で終了したということを考えればいい成績です]。		
546					うん。	
547		実際、この11か月での卒業は開校以来の最短期間であった。	実際、この11か月での卒業は開校以来[日本語で発話する]。a, to samo še preverim [「開校」をjisho.orgに入力して検索する]。O, o, o, se pravi, odkar se je ta šola odprla, od takrat naprej, kar je bila pač ta vojaška akademija odprta, sili, ta, 最短期間 [読み方に迷う][日本語で発話する]。to še preverim samo zaradi izgovorjave. Pač vem, da je bil pač rekord, pač najrajše časovno obdobje, ne, pač.	「実際、この11か月での卒業は開校以来。あ、ここだけ確認します[「開校」をjisho.orgに入力して検索する]。んんん、つまり、この学校が開校してから、それ以来、まあ、この陸軍士官学校が開校してから、[「さいた、最短期間」[読み方に迷う]、これ「最短期間」の読み方だけ確認]ます。記録だということとはわかりますが、まあ、最短期間ですね。」		
548					うん。	
549			Umm, 最短期間 [「最短期間」をjisho.orgに入力して検索する]。O, o, o, se pravi najrajše, se pravi, da pač, da, da v tej zgodovini te vojaške akademije je bil pač to, da, pač to, da je zanjčuli, to, pač ta študi ali pač, kako bi rekeli, ja, pač ta tudi v 11 meseci, da je pač v zgodovini te vojaške akademije pač rekord za najrajše, pač najhitreje končano izobraževanje.	うーん、「最短期間」[「最短期間」をjisho.orgに入力して検索する。]。んんん、つまり最短期、つまり、まあ、この陸軍士官学校のこの歴史上、まあこれが、まあ、終了したことが、この、まあ、この過程を、何とさえはいいいですか、はい、まあ、この過程を11か月で、まあ、この陸軍士官学校の、まあ、歴史上の課程終了最短期間です。		
550					うん。	
551		この時期のエピソードとして、クラスで雪合戦をした際にナポリオンの見事な指揮と陣地構築で快勝したという話がある。このことから指揮官としての才能があったとされるが、英語ではなく偉人伝を形作る後の作り話である。	この時期の[日本語で発話する]。a, se pravi,	「この時期の」あ、つまり、		
552					続けてもいいですか。	
553			Umm, ja, laško.	うーん、はい、大丈夫です。		
554					では、ここ[「生い立ち」の最後の段落]まで行きましょう。	
555			Ja, laško še naprej, ja.	はい、続けてもいいです、はい。		
556					はい、うん。	
557			Oo, se pravi, この時期のエピソード [「エピソード」の言い間違い]として[日本語で発話する]。se pravi, pač, kakor en tak zanimiv dogodek iz tega obdobja, verjetno ko je bil na tej vojaški akademiji.	んん、つまり、「この時期のエピソード」[「エピソード」の言い間違い]として」。つまり、まあ、たぶんこの陸軍士官学校にいた時、1つのおもしろい出来事として。		
558					うん。	
559			クラスで[日本語で発話する]。o, o, o, to bom preveril [「雪合戦」をjisho.orgに入力して検索する]。Mmm, o, o, o, pa pogledajmo, a, 雪合戦 [日本語で発話する] [笑う]。	「クラスで」。ん、ん、ん、これ[雪合戦]を確認します[「雪合戦」をjisho.orgに入力して検索する。]。うん、ん、ん、ん、見てみましょう。あ、「雪合戦」[笑う]。		
560					[笑う。]	
561			Se pravi, da, da so se kepali, pač ob priložnosti, ko so se kepali med sabo, umm, ナポリオンの見事なし[「指揮」の「し」のここ][日本語で発話する]。a, tukaj samo še to, ta dva kanjja.	つまり、「学生たちが」[雪合戦を]していて、まあ、この雪合戦という機会に、うーん、「ナポリオンの見事なし[「指揮」の「し」のこと]。あ、ここはこれだけ、この2つの漢字を「確認」します]。		
562					うん。	
563			[「指揮」をjisho.orgに入力して検索する。]。o, o, o, 指揮[日本語で発話する]。se pravi, da pač pod njegovim briljantno vodstvom, umm, asa, [「陣地構築」をjisho.orgに入力して検索する]。陣地[日本語で発話する]。se pravi pač neke vrste položaji, pač vojaški, 構築[日本語で発話する]。se pravi pač zgradba nekega [笑う] tega vojaškega položaja.	[「指揮」をjisho.orgに入力して検索する。]ん、ん、ん、「指揮」。つまり、まあ、彼[ナポリオン]の素晴らしい指揮のもとで、うーん、あー[「陣地構築」をjisho.orgに入力して検索する]。「陣地」。つまり、まあ、何らかの位置、まあ、陣地です。「構築」。つまり、まあ、何らかの[笑う]。この陣地の構築です。		

564					うん。	
565			でけつとう「快勝」の言い間違い。tukaj mislim, da je keつとうた「快勝した」の言い間違い。」「とう」は「能」の間違いかもしれない。「快勝」をjisho.orgに入力して検索する。mmm, se pravi, da a. 快勝, a. samo malo, da preverim. 快勝。	「でけつとう」「快勝」の言い間違い。ここは「けつ」とうた「快勝した」の言い間違い。」「とう」は「勝」との間違いかもしれない。」「快勝」をjisho.orgに入力して検索する。うん。つまり、あ。「快勝」。あ、少し確認します。「快勝」。		
566					うん。	
567			したという話が有名で「日本語で発話する。」。oo, samo še enkrat preverim.	「したという話が有名で。んん。もう一度だけ確認します。		
568					うん。	
569			クラスで合戦をした際にナポレオンの見事な指揮と「日本語で発話する」。a, se pravi, da pač [笑う, da, da pač, da je znana ta, pač, govoric, pač, da je, pač kadar je bil v tej šoli, pač vojaški akademiji in pač ko so se, kadar so se pač, umm, pač kepali	「クラスで合戦をした際にナポレオンの見事な指揮と。あ、つまり、まあ「笑う」。まあ、この、まあ、噂が有名で。まあ、この学校、まあ、陸軍士官学校にいたときに、まあ、雪合戦を、まあ、していた。うーん、とき、ときに。		
570					うん。	
571			En, da je pač zaradi, zavoljo pač tega Napoleonevga, pač briljantnega vodstva in izgradnje pač tega [笑う] vojaškega položaja.	えー、まあ、このナポレオンの見事な指揮と、まあ、この「笑う」陣地の構築のおかげで。		
572						
573			V narekovajih, da so zlahka zmagali.	「雪合戦において「陣地」とは「太けさですが、[その的確な構築のおかげで]快勝しました。		
574					うん。	
575			このころから指揮官として, to samo preverim. Pač predvidevam, da je neke vrste pač oficir ali pač nekaj v tem smislu, verjetno「指揮官」をjisho.orgに入力して検索する。指揮官「日本語で発話する」。ja, se pravi komandant, se pravi poveljnik. O, o. o. o. として, ee, 有能「才能」の言い間違い「日本語で発話する」。predvidevam da ja 有能「才能」の言い間違い「日本語で発話する」。Se pravi, sa「日本語で発話する」。a. ne. 才能. 才能「日本語で発話する」。točno, ja「才能」をjisho.orgに入力して検索する。才能「日本語で発話する」。ja, se pravi, da je pač, ところから「指揮官」を読み飛ばす」として才能があったとされるが、そのころ「日本語で発話する」。se pravi, da od talarit se je pač, se je pač nekako odlepalo, da ima talenti bolj poveljnik, ampak, 実話ではなく「日本語で発話する」。	「このころから指揮官として」。これ「指揮官」だけ確認します。まあ、何らかの士官か、そういう意味の何かだと思えますが「指揮官」をjisho.orgに入力して検索する。「指揮官」。はい、つまり司令官、つまり指揮官です。ん。ん。ん。「として」。えー、「有能」「才能」の言い間違い。」「有能」「才能」の言い間違いだと思います。つまり、「さ」。あ、いいえ。「才能. 才能」。そうですね、はい。「才能」をjisho.orgに入力して検索する。「才能」。はい、つまり、まあ、「このころから「指揮官」を読み飛ばす」として才能があったとされるが、そのころ。つまり、そのころから、まあ指揮官として才能があると。まあ、されていますが「実話ではなく。		
576					うん。	
577			Se pravi「実話」をjisho.orgに入力して検索する。da ni pač resnična zgodba, ではなく「日本語で発話する」。o. o. o. se to preverim「偉人伝」をjisho.orgに入力して検索する。O. o. o. moram posebej preveriti「偉人」をjisho.orgに入力して検索する。偉人, 偉人「日本語で発話する」。aha, za to pa moram prejeti še 電子辞書「日本語で発話する」。	つまり「実話」をjisho.orgに入力して検索する。」。実話ではなくて、「ではなく」。ん。ん。ん。これ「偉人伝」も確認します「偉人伝」をjisho.orgに入力して検索する」。ん。ん。ん。1つずつ確認しなければなりません「偉人」をjisho.orgに入力して検索する。「偉人, 偉人」。ああ、これは「電子辞書」も引かなければなりません。		
578					うん。	
579			Se pravi bom napisal te knjige「偉人」か「偉人伝」。	つまり、これらの漢字「偉人」か「偉人伝」を書いて。		
580					うん。ベンで。	
581			S svinčnikom, ja「偉人」か「偉人伝」をベンで電子辞書の画面に書いて検索する。偉人「日本語で発話する」。se pravi, oo, tukaj bom preveril še, kako se izgovori. 偉人伝「日本語で発話する」。se pravi zgodba, se pravi pač, da je zgodba o neki veliki zgodovinski osebnosti.	ベンで。はい「偉人」か「偉人伝」をベンで電子辞書の画面に書いて検索する。」。「偉人」。つまり、んん。ここ「偉人伝」も読み方を確認します。「偉人伝」。つまり、つまり、まあ、何らかの歴史上の偉大な人物の話です。		
582					うん。	
583			を「日本語で発話する」。umm, še to preverim「影る」をjisho.orgに入力して検索する。Se pravi 影る「日本語で発話する」。aha, se pravi, pač, nekako okrasiti ali pač, da je bila pretrana v tem primeru 後の作り, つくりはなし「作り話」の言い間違い「日本語で発話する」。pač, da je pač, še to samo, pač neka izmišljena zgodba「作り話」をjisho.orgに入力して検索する。Ja, pač, izmišljena zgodba.	「を」。うーん、これ「影る」も確認します「影る」をjisho.orgに入力して検索する。」。つまり「影る」は、ああ、つまり、まあ、何か、影るか、まあこの場合は「大げさ」という意味です。「後の作り, つくりはなし」。「作り話」の言い間違いです。まあ、これは、まあ、あと、これ「作り話」を確認します。まあ、何らかの作り話です「作り話」をjisho.orgに入力して検索する。はい、まあ、作り話です。		
584					うん。	
585			Mit o neki veliki zgodovinski osebnosti, no, pač, kar je običajno. Pač ker, recimo, že pomislimo na tisto o Einsteinu in vse ta, pač, zgodovinske osebnosti so imele kakšne take izmišljene zgodbe.	偉大な歴史上の人物の神話。まあ、いつものことです。なぜなら、たとえば、アインシュタイン連などを考えれば、これらの歴史上の人物は、こういう架空の話がいくつかはあります。		
586					うん。	
587			O njihovi otroški genialnosti ali pa, da je Einstein imel pač cvek pri matematiki in tako naprej.	彼らの幼少期の素神らしさについてとか、アインシュタインが、まあ、数学で悪い成績をとっていたなどです。		
588					うん。	
589			O, o. o, tukaj potem še tisto preverim「幼年時」をjisho.orgに入力して検索する。幼年時「日本語で発話する」。se pravi otroštvo, のナポレオンは「日本語で発話する」。mmm, samo to še preverim「節約」をjisho.orgに入力して検索する。」「つ, 節約「日本語で発話する」。oo, se pravi pač, da je bil varčen. 節約をかねて「日本語で発話する」。umm, samo še enkrat preverim to「節約」を再確認する。Oo, 節約「日本語で発話する」。ja, da je bil varčen. かねて「日本語で発話する」。umm, še ta knjig preverim「読書」をjisho.orgに入力して検索する。Oo, 読書「日本語で発話する」。branje.	んんん。あとここは、それ「幼年時」も確認します「幼年時」をjisho.orgに入力して検索する。」「幼年時。つまり幼年時。」「のナポレオンは。んんん。これ「節約」だけ確認します「節約」をjisho.orgに入力して検索する。」「つ, 節約。んんん。つまり、節約をかねて。」「節約」を確認します「節約」を再確認する。んん。」「節約」。はい、節約をしています。かせ, かねて。うーん、あここ漢字「読書」を確認します「読書」をjisho.orgに入力して検索する。んん。「読書」。読書です。		
590					うん。	
591			に「日本語で発話する」。mmm, to bom še preveril v denari「jisho.orgのこと」「明け暮れ」をjisho.orgに入力して検索する。明け暮れ「日本語で発話する」。oo, se pravi ves čas.	「に」。うん、これもdenari「jisho.orgのこと」で確認します「明け暮れ」をjisho.orgに入力して検索する。」「明け暮れ。んんん。つまり、いつも。		
592					うん。	
593			Se pravi, da je ves čas brai. 特に「プロタルコス」「プロタルコス」の言い間違い。」「ブル「日本語で発話する」。a. Plutarh predvidevam, samo bom še preveril.	つまり、いつも「本」読んでいました。「特に「プロタルコス」「プロタルコス」の言い間違い。」「ブル」。あ、プロタルコスだと思いますが、確認します。		
594					うん。	
595			Pač na Wiki「Wikipediaのこと」「プロタルコスのページをWikipediaで検索するが言語は不明」。Oo, ja, Plutarh, pač, se pravi ta grški, pač, filozof.	Wiki「Wikipediaのこと」で「確認します」「プロタルコスのページをWikipediaで検索するが言語は不明」。んん。はい、プロタルコス。まあ、つまりこのギリシャの、まあ、哲学者です。		
596					うん。	

597			O, o, o, Plutarhの英雄伝[日本語で発話する]. pa đ, he, pač verjetno te herojske zgodbe, saj lahko e preverim, pač.	ん、ん、ん、ブルタルコス「の英雄伝」。まあ、ま あ、たぶんこの英雄の話です。まあ、まだ確認で きます。		
598					うん。	
599			Mmm[おそら<Wikipediaで「英雄伝」を検索するか ブルタルコスのページで「英雄伝」を探す]. 英雄伝 [日本語で発話する]. ja, pač zgodbe o teh herojih.	うん[おそら<Wikipediaで「英雄伝」を検索するか ブルタルコスのページで「英雄伝」を探す].「英雄 伝」。はい、まあ、この英雄たちの話です。		
600					うん。	
601			ヤルソーの[日本語で発話する]. mmm, še to preverim [「著作」をjisho.orgに入力して検索する] 著作[日本語で発話する]. se pravi, mislm da so to ruske knjige, A, ne, Rousseau[笑う]. Se pravi, da gre za avtorja. No, zaradi tega je treba preveriti.	「ヤルソーの」。うん、これ[著作]も確認します[「著 作」をjisho.orgに入力して検索する].「著作」、つま り、これはロシアの本だともいます。あ、いいえ、 ロシアです[笑う]。つまり著者です。まあ、ですか ら、確認しなければなりません。		
602					うん[笑う]。	
603			Umm,	うーん、		
604					その通りです。	
605			Se pravi, da je bral pač te herojske zgodbe od ブ ロ、ブルタルコス [「ブルタルコス」の言い間違い] [発音して読りながら読む][日本語で発話する]. Plutarha, pač herojske zgodbe od Plutarha in knjige od Rousseauja. Oo, tukaj, kaj je še to. Preverim. Oo, spot jisho.org [「精読」をjisho.orgに 入力して検索する]. 精読[日本語で発話する]. se pravi, da je pač intenzivno ali pač, tako, zelo rad bral.	つまり、まあ、この「ブロ、ブルタルコス」[「ブルタル コス」の言い間違い][発音して読りながら読む]. ブルタルコスの英雄伝を読んで、まあ、ブルタルコ スの英雄伝とソーの著作を読んでいた。ん ん、こは、これ[精読]は何ですか。確認します。 んん、またjisho.orgです[「精読」をjisho.orgに入 力して検索する].「精読」。つまり、まあ、熱心に、あ るいは、こう、愛読していました。		
606					うん。	
607			無口で友達が少ない[日本語で発話する].	「無口で友達が少ない」。		
608					うん。	
609			Se pravi, da je bil pač, tak, tih in sramežljiv in da je imel malo prijateljev. Bomo še to preveriti v jisho.org [「小柄」をjisho.orgに入力して検索する]. 小柄[日本語で発話する]. se pravi, pač, je bil majhen. To vsi vemo, ne [笑う].	つまり、まあ、こう、静かで内気で友達が少なかっ たのです。あと、これ[小柄] jisho.orgで確認しま す[「小柄」をjisho.orgに入力して検索する].「小 柄」。つまり、まあ、小柄でした。これはみんな知っ ていますね[笑う]。		
610					うん。	
611			小柄な[日本語で発話する]. ee, 少年であった[日 本語で発話する]. Se pravi, da je bil pač, tak, sramežljiv, pač, fant majhne postave, ki ni imel dosti prijateljev.	「小柄な」。えー、「少年であった」。つまり、まあ、こ う、内気で、まあ、小柄で友達が少ない少年でし た。		
612					うん。	
613			Rad je bral pač te, še posebej rad je bral te knjige, od, pač herojske zgodbe, te od Plutarha, in Rousseaujeve knjige. In pač, da je, pač, da je varč eval denar pač za te knjige.	読書が好きで、まあ、この、特にこれらの本を読む のが好きで、まあ、このブルタルコスの英雄伝や ルソーの著作です。そして、まあ、これらの本、 まあ、のために節約をしていました。		
614					うん。	
615			Ooo, in to je pač od njegovga otroštva, v bistvu.	んんん、そしてこれは、まあ、要するに彼[ナポレ オン]の幼年時についてです。		
616					うん。	
617	学校ではコルシカ語を馬鹿にされ、ナポレオーネに近 い音でラバイヨネ (la paille au nez, 薬鼻)		学校ではコルシカ[日本語で発話する]. oo, tukaj s e preverim コルシカ [「読り」をjisho.orgに入力して 検索する]. 読り[日本語で発話する]. a, se pravi korzi, korziški dialekt.	「学校ではコルシカ」。うん、これも確認します。「コ ルシカ」[「読り」をjisho.orgに入力して検索する]. 「読り」。あ、つまりコルシ、コルシカの方言です。		
618					うん。	
619			を馬鹿にされ[日本語で発話する][笑う].	「を馬鹿にされ」[笑う]。		
620					うん。	
621			Pač, se pravi, ko je bil v šoli, so, pač, so se mu posmehovali zaradi njegovga, pač, tega korziš kaga dialekta.	まあ、つまり、学校にいたとき、まあ、彼[ナポレオ ン]はコルシカ語があったため、「学生たちは」彼 を馬鹿にしていました。		
622					うん。	
623			ナポレオンに近い[日本語で発話する]. umm, オン [「音」のこと][少し通う]. ナポレオーネに近い音でラ バイヨネ[日本語で発話する][笑う]. to tukaj je o čitno neka besedna igra.	「ナポレオンに近い」。うーん、「オン」[「音」のこと] [少し通う]。ナポレオーネに近い音でラバイヨネ[笑 う]。こは、何らかの言葉遊びみたいですね。		
624					[笑う.]うん。	
625			Umm, ラバイヨネ, ラバイヨネ[繋る][日本語で発 話する]. To moram preveriti, ker mi ni prav jasno.	うーん[ラバイヨネ, ラバイヨネ[繋る]]. これはよく 分からないので、確認しなければなりません。		
626					ああ、この漢字[薬鼻]まで来ましたね。	
627			Kanjja, ja [「薬鼻」をjisho.orgに入力して検索する].	漢字、はい[「薬鼻」をjisho.orgに入力して検索す る].		
628					最後にカッコにある[漢字]。	
629			Aa, očitno ne bo. Drugače lahko tudi preverim, umm, če je to v francoščini, mogoče bo kaj prišlo ven.	ああ、[薬鼻は]出てこないみたいですが、だったら、 うーん、フランス語でも確認できます。何か出てく るかもしれません。		
630					うん。	
631			Bom kar vstavil tukaj [「la paille au nez」を Wikipediaで検索する].	ここに入力します[「la paille au nez」をWikipediaで 検索する].		
632					うん, Wiki[Wikipedia]で。	
633			V Wiki[Wikipediaのこと]. ja.	Wiki[Wikipediaのこと]で、はい。		
634					ないですか。	
635			Aha, to je pa zdaj majhna jezikovna ovira. Bomo videli, če bomo tukaj kaj dobili, če dam francošč ino [PONSをスロベニア語・フランス語訳に設定し て「la paille au nez」を入力して検索する].	ああ、今のこれ[外国語の言葉を検索すること] は、小さな言語の壁ですね。フランス語[にしたら何 か出てくるかどうか。見てみましょう[PONS[オンラ イン多言語辞書]をスロベニア語・フランス語訳に 設定して「la paille au nez」を入力して検索する].		
636					ああ、今はPONSですね。	
637			PONS, ja.	PONS、はい。		
638					そしてフランス語から。	
639			Pač, bom poskušal.	まあ、やってみます。		
640					スロベニア語に。	

641			Umm, se pravi nez[フランス語で発話する] je nos.	うーん、つまりnez[フランス語で発話する]は鼻です。		
642					鼻。	
643			Paille[笑って軽く][フランス語で発話する]。	「Paille」[笑って軽く][フランス語で発話する]。		
644					paille。	
645			Vieči slamico iz nosu. Nekoliko nenavadno. Pač, zdi se, da gre za nako, pač, besedno igr.	「塞鼻は、」蓋を鼻から引く張る[どう意味です]。少し変です。まあ、何らかの、まあ、言葉遊びめたいです。		
646					うん。	
647			とあだ名、あだ名[日本語で発話する]。se ta あだ名[日本語で発話する] preverim [「あだ名」をjisho.orgに入力して検索する]。	「とあだ名、あだ名」、この「あだ名」も確認します[「あだ名」をjisho.orgに入力して検索する]。		
648					うん。	
649			Mmm, pač, ta nickname, se pravi to še preverim, nickname[英語訳を発話する], ker se ne prav spomnim točno, kako bi prav prevedel to. Angleščina[「あだ名」の英語訳[nickname]をPONS入力して検索する], nickname[英語訳を発話する], umm, dobro, to se mi zdi malo, pač, zdi se, da ni nekaga pametnega prevoda za to, ampak pač, tako so ga pač klicali.	うん、この「nickname」[英語訳を発話する]、つまり、正確にどう訳せばいいか思い出せないで、「nickname」[英語訳を発話する]を確認します。英語で「あだ名」の英語訳[nickname]をPONSに入力して検索する]。あだ名、うーん、まあ、これは少し、まあ、いい翻訳がないようすが、まあ、このように呼ばれていたわけですが。		
650					うん。	
651		裕福な貴族子弟と折り合いが悪かったためである。	V šoli. Oo, potem naprej ja, o, o, o, o, šo to preverim [「裕福」をjisho.orgに入力して検索する], 裕福[日本語で発話する], se pravi nako, pač, bogastvo, 裕福な貴族[日本語で発話する], še to [「子弟」のこと][確認します], Pač[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する], 子弟[日本語で発話する]。	「あだ名の意味は」冗談として、ん、ん、その続きは、ん、ん、これ「裕福」も確認します[「裕福」をjisho.orgに入力して検索する]。「裕福」、つまり何らかの、まあ、裕福です。「裕福な貴族」、これ[「子弟」のこと][確認します]。まあ[「子弟」をjisho.orgに入力して検索する]。「子弟」です。		
652					うん。	
653			Se pravi, da ti mladi, pač, bogati mladi plemiči, to, umm, mmm[「折り合い」をjisho.orgに入力して検索する], フリアイ[日本語で発話する][「折り合い」の言い間違い], a, お, 折り合い[日本語で発話する]。	つまり、この若い、まあ、裕福な貴族子弟は、この、うーん、うん[「折り合い」をjisho.orgに入力して検索する]。「フリアイ」[「折り合い」の言い間違い], あ、「お、折り合い」です。		
654					うん。	
655			Se pravi, da njegovi odnosi s temi mladimi bogatimi plemiči, 悪かったため[日本語で発話する], se pravi, ker so bili ti njegovi, pač, odnosi s temi drugimi, pač, mladimi plemiči, pač temi mladimi premožnimi plemiči, pač slabi.	つまり、彼のこの裕福な貴族子弟との関係が悪かったため、つまり、この彼のこの他の、まあ、貴族子弟、まあ、この裕福な貴族子弟との関係が悪かったためです。		
656					うん。	
657		その頃の数少ない友人の一人が、後に秘書官を務めるルイ・アントワヌ・フォヴレ・ブーリエンスであった。	この、その頃の、すう[「数」のこと], すう[「数」のこと], しょう[「小」のこと][日本語で発話する], umm, samo še to preverim, すう[「数」のこと], 少ない[日本語で発話する][「数少ない」をjisho.orgに入力して検索する], 数少ない[日本語で発話する]。	「この、その頃の、すう[「数」のこと], すう[「数」のこと], しょう[「小」のこと], うーん、これだけ確認します。「すう[「数」のこと], 少ない[「数少ない」をjisho.orgに入力して検索する]。「数少ない」です。		
658					うん。	
659			Se pravi redki.	つまり、数少ないです。		
660					数少ないというフレーズですね。	
661			Ja, se pravi redki prijatelji, no, se pravi iz tistga obdobja, se pravi, pač, je eden od njegovih redkih prijateljev, 友人の一人が後に[日本語で発話する], mmm, še to preverim[「秘書官」をjisho.orgに入力して検索する], A, tako oo, 秘書官[日本語で発話する], se pravi je postal njegov, pač, sekretar.	はい、つまり、数少ない友達、まあ、つまり、その頃の、つまり、まあ、彼の数少ない友達の1人が、「友人の一人が後に」、んんん、あと、これ「秘書官」を確認します[「秘書官」をjisho.orgに入力して検索する]。あ、あつた、んん、秘書官、つまり彼「ナポレオン」の、まあ、秘書官になりました。		
662					うん。	
663			を称めるロイ・アントワ、アントワ、ロイ・アントワ[フランス風の名前を発音するのに苦労する], [日本語で発話する]。	を称めるロイ・アントワ、アントワ、ロイ・アントワ[フランス風の名前を発音するのに苦労する]。		
664					「笑う。」	
665			フォ、フォレ、フォレ、ド[笑う]、ボ、ボリエン、ボリエン、まあ[日本語で発話する]。	「フォ、フォレ、フォレ、ド[笑う]、ボ、ボリエン、ボリエン、まあ」。		
666					はい、お疲れ様[笑う]。	
667			「笑う。」ロイ、ルイ・アントン、フォヴレ・ブーリエンス[日本語で発話する], Mm, no, saj tudi sam pa č ne znam izgovarjati teh francoskih imen, tako da, 「笑う。」	「笑う。」「ロイ、ルイ・アントン、フォヴレ・ブーリエンス」、んん、まあ、私もこのフランス人の名前が言えないので、「笑う。」		
668					「笑う。」	
669			Tukaj ni toliko, tukaj ni toliko vprašanje katakana ali ne katakana.	ここは、ここは、カタカナカタカナではないか、という問題ではなくて、		
670					「笑う。」	
671			Ampak je čisto preprosto težko ime. Se pravi, to je bilo ime tega njegovega prijatelja.	単に名前[の発音]が難しいです。つまり、これは、この彼の友達の名前です。		
672					うん。	
673			Ki je potem postal očitno njegov, pač, ee, ki je bil pomočnik ministra, se mi zdi, oziroma ministrov, pač ta, sekretar.	そして、「友達」がその後彼の、まあ、えー、大臣の助手だとは思いますが、いいえ、大臣の、まあ、この、秘書官になりました。		
674					秘書官です。	
675		一方で、癡癡持ちでもあり、喧嘩っ早く短気な一面もあった。	一方で[日本語で発話する], po drugi strani, umm, umm, umm[「癡癡持ち」をjisho.orgに入力して検索する], po drugi strani, preverimo še to tukaj.	「一方で」、一方で、うーん、うーん[「癡癡持ち」をjisho.orgに入力して検索する]。一方で、これ「癡癡持ち」も確認しましょう。		
676					うん、この4つの漢字「癡癡持ち」です。	
677			癡癡持ち[日本語で発話する], se pravi, bi bil vroč ekvren, でもあり[日本語で発話する], ja, se pravi, se bi tudi vroč ekvren, mmm, tukaj še to preverim [「喧嘩」をjisho.orgに入力して検索する], Mmm, da vidimo, 喧嘩[日本語で発話する]。	「癡癡持ち」、つまり、癡癡持ちでした。「でもあり」、はい、つまり、癡癡持ちでもあって、んんん、ここでもこれ「喧嘩」も確認します[「喧嘩」をjisho.orgに入力して検索する]。んんん、どうでしょう、「喧嘩」。		
678					うん。	
679			喧嘩、つ、早く[日本語で発話する], pač očitno se je hitro sprl	「喧嘩、つ、早く」。まあ、喧嘩っ早かったみたいですよ。		
680					うん。	
681			短気、短気な[日本語で発話する]。	「短気、短気な」。		

682					「嘘嘩っ早く」を検索して見つかりませんでしたので、次に「嘘嘩」と「早い」だけ検索しましたね。	
683			Aa, nisem dobil. 嘘嘩っ早く[おそらく読み方が分らなかった。日本語で発話する。]	ああ、見つかりませんでした。「嘘嘩っ早く」[おそらく読み方が分らなかった。]		
684					「嘘嘩」と「早い」だけ[検索しましたね]。	
685			嘘嘩っ早く[日本語で発話する]。ok. 短気[日本語で発話する]。se pravi spet, da je, da je, pač da je bil, aha, to bi lahko preveril še, o. o. o. še v PONS. short-tempered [英語で発話する][PONSに入力して検索する]。Aja, točno, zdi se še vedno francoščina, ja, angleščina, slovenščina[スロベニア語・フランス語の設定をスロベニア語・英語に変える]。Vzkopjiv, se pravi, da je bil naže jeze, vzkopjiv.	「嘘嘩っ早く」分かりました。「短気」つまり、また。まあ、彼が、ああ。これも確認した方が、みんな、PONSでも[確認します]。「short-tempered」[英語で発話する][PONSに入力して検索する]。ああ、そうでしたね。今はまだフランス語に設定されていますでしたね。英語、スロベニア語[PONSでスロベニア語・フランス語の設定をスロベニア語・英語に変える。]。嘘嘩っ早い、つまり嘘嘩っ早い、継続持ちでした。		
686					うん。	
687			一面もあった[日本語で発話する]。se pravi, da [「一面」をjisho.orgに入力して検索する]。se pravi, da en vidik njega je bil pač tudi ta, ena plast njega je bilo tudi to, pač da, da je bil vročoljuben, da se je hitro pač skregal in je bil tak vzkopjiv.	「一面もあった」。つまり[「一面」をjisho.orgに入力して検索する]。つまり彼の一面は、まあ、彼の一面はこの、彼が継続持ちでもあったということですよ。彼がこう、嘘嘩っ早くて継続持ちでした。		
688					うん。	
689			Pač to je tudi ena, pač del njegov, pač njegove osebnosti.	まあ、これも1つの、まあ、彼の、まあ人格の一面です。		
690					うん。誰のですか。	
691			Umm, Napoleona.	うーん、ナポレオンのです。		
692					ナポレオンの。うん。	
693		また十代の後半は小説家にも憧れ、その頃から断続的に文学活動もしていた。	また十代[日本語で発話する]。no, se pravi, ko je imel približno, od deset let naprej nekako, tam okoli desetih let, umm, の後半は[日本語で発話する]。s, se pravi, tam, ko je imel racmo, ne vem, verjetno pa č 15 let, ker je pač 後半[日本語で発話する]。	「また十代」。まあ、つまり、大体、10歳になってから、10代の頃です。うーん。「の後半は」、あ、つまり、「後半」、つまり、まあ、分かりません。たぶん、まあ、15歳の頃、「後半」ですから。		
694					うん。うん。	
695			は小説家[日本語で発話する]。očitno je to pisec romanov [「小説家」をjisho.orgに入力して検索する]。Se pravi, ja, je hotel postati [小説家]。にも憧れ[日本語で発話する]。samo preveril bom še, ker nisem prav prepričan [「憧れ」か「憧れる」をjisho.orgに入力して検索する]。	「は小説家」。小説家みたいですよ[「小説家」をjisho.orgに入力して検索する]。つまり、はい、[小説家]になりましたのです。「にも憧れ」、「意味が」よくわからないので、少し確認します[「憧れ」か「憧れる」をjisho.orgに入力して検索する]。		
696					うん。	
697			Mmm, se pravi, da se je, pač, ko je imel približno 15 let, je razmišljal[小説家になろうかと]。pač, oziroma je želel postati pisatelj.	うん、つまり、まあ、15歳だった頃は、「小説家になろう」と考えていました。まあ、いいえ、小説家になりましたかったです。		
698					うん。	
699			そのことから[日本語で発話する]。mmm, se to preverim. Oo, spet jisho.org [「断続的」をjisho.orgに入力して検索する]。	「そのことから」。うん、あとこれ[断続的]を確認します。うん、またjisho.orgです[「断続的」をjisho.orgに入力して検索する]。		
700					うん。	
701			断続的[日本語で発話する]。umm, se pravi, z nekimi prekinjavami, 文学活動もしていた[日本語で発話する]。Se pravi, v tistem obdobju s prekinjavami se je pač ukvarjal tudi z literaturo.	「断続的」。うーん、つまり何らかの断続があつて、「文学活動もしていた」。つまり、その時期は断続的に、まあ、文学とも関わっていました。		
702					うん。	
703			Oziroma z literarnimi, pač, s temi dejavnostmi.	まあ、文学の、活動[をしていました]。		
704					うん。	
705			Verjetno pač s tem, s pisateljstvom, verjetno, v tem primeru.	たぶん、まあ、この、小説家[という活動でしょう]。たぶん、この場合は。		
706					うん。	
707			No, pač, to je pa to. Mislim, da vsaj, da s tem zaključiva.	では、まあ、こういうことですね。これで、これで終わったと思います。		